

教科：国語

種目：国語

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新編 新しい国語
教 出	1 7	ひろがる言葉 小学国語
光 村	3 8	国語

調査項目と着眼点 種目【国語】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【国語】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・各領域の指導事項が年間でバランスよく配置されている。また、国語で身に付けた力を即時実践につなげる流れが示され、深い学びにつながるよう工夫されている。 ・全学年で各領域偏りなく、教科横断的な題材をテーマとした学習の単元が配置されている。「読むこと（説明文）」と「書くこと」の間に、学習事項が関連している「情報のとびら（情報の扱い方）」が位置付けられており、単元・教材の学びを次の学びに生かすことができる配置となっている。 ・各領域の単元を「見通す」「取り組む」「振り返る」の課題解決的な3ステップで構成しており、付けたい力を明確にしながら、見通しをもって学習を進められるように工夫している。また、現代的諸課題に関連の深い教材を始め、児童が身近に感じられるような題材を多く取り入れている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・低学年では昔話や短歌・俳句、高学年では百人一首や狂言等が取り上げられ、日本の伝統文化を学ぶことができるよう工夫されている。 ・I C Tを活用して学びを広げ、深めることができるよう、様々な場面で一人一台端末の活用を促すデジタルコンテンツが用意されている。これまでの学びの振り返りや、単元に関わる資料、練習問題等が二次元コードで位置付けられている。 ・今日的な課題、特に持続可能な社会のづくり手を育む内容が多く取り入れられ、単元の中で、一人一人が学習の見通しをもち、協働的な学びができるように工夫されている。また、つまずきやポイントをキャラクターのやりとりで具体例として示し、自ら学び進める配慮がされている。
3 印刷・製本等に関すること	・第1～4学年用は分冊、第5・6学年は中学校との連携を考慮して学年1冊としている。重さへの配慮として、軽量かつ強度に優れた用紙を使用し、軽量化を図っている。 ・活字は、手書きの硬筆の筆使い・字形に準拠した、見やすく文字の指導に適した教科書体を使用している。文字の小さい箇所等には見やすく読み間違えにくいUDフォントを使用している。色だけで区別・判別する表現を避け、必要に応じて色以外の情報を加えている。脚注罫線で、行が捉えやすくなっている。 ・環境に配慮し、紙は再生紙、印刷は植物油インキを使用している。長期間の使用に耐える堅牢な製本方式である。

意見書

種目【国語】 発行者【教出】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・資質・能力の三つの柱が各学年の学期の中にバランスよく位置付けられている。「話す・聞く」ための素地をつくり、段階的に成功体験を重ねることができる工夫がされている。 ・6年間を通じて、段階的・系統的に学習が積み上がるように工夫されている。多様な観点から他教科や日常生活と関連付けた話題・題材や言語活動が位置付けられており、他教科の学習で実際に活用できるよう工夫されている。 ・学習指導要領に示されている学習過程「構造と内容の把握」「精査・解釈」「考えの形成」「共有」に合わせて、何をどう学べばよいのかが一目でわかるようになっている。児童が見通しをもち、主体的に学べるように紙面が工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・第1・2学年は昔話や民話、第3～6学年は短歌や俳句・古典等、日本語のリズムや響きが味わえるような小教材が、「言葉の文化」として位置付けられている。 ・二次元コードを通じてウェブサイトの資料を活用できる「まなびリンク」が位置付けられ、一人一台端末を用いて教材に関連する多くの情報を閲覧することができるようになっている。学習への意欲を高め、学びを活性化することができるよう工夫されている。 ・他教科や今日的な課題と関連する題材、社会性を育てる教材や多様性への理解を促す教材を積極的に取り入れている。また、学びの流れの中でも交流を重視し、共有や振り返りによる学びの深化を図る自己評価・相互評価の機会を設けている特徴がある。
3 印刷・製本等に関すること	・重さに配慮すると同時に、1年に2回新しい教科書に出会う期待と喜びを大切に考え、全学年上下巻の分冊になっている。 ・活字は、ユニバーサルデザインに配慮したオリジナルフォントが使用されている。鮮明で読みやすく、色覚の特性を踏まえた多くの人に見やすいように、色に基づく活動を避け、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・表紙は堅牢で環境に配慮した特殊コーティングがされており、紙は再生紙、印刷は植物油インキを使用している。長期間の使用に耐える堅牢な製本方式である。

意見書 種目【国語】 発行者【光村】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・各学年で付けた力が明確であり、国語を学ぶ意味や学び方について掲載されている。各領域の指導事項について、幼児教育から小・中9年間を見通した構想と系統性がある。 ・6年間を通して、各領域の単元が系統的に配置され、教科横断的な学習となる題材が取り上げられている。単元・教材の学びを次の学びに生かすことができる、繋がりのある配置がされている。 ・巻頭ページで、どんな学習を通して、どんな言葉の力を付けるのかを示したり、単元の手引きを上下2段に整理し、学習の流れを明確にしたりすることで、児童が見通しをもち、主体的に取り組めるように配慮されている。また、「問い」を出発点とする学びを意図的に仕組むことで、児童の意欲をかき立て、次の学びへの意欲につながるように工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・第2学年以上で「季節の言葉」が掲載され、昔話・短歌・俳句・古典・伝統芸能等、様々な言語文化に触れることで、語彙を豊かにし、ものの見方を広げることができるよう意図されている。 ・必然性をもってICTの活用能力を育むことができるよう配慮されている。また、動画や音声資料の二次元コードが充実している。 ・今日的な課題にまつわる多様なものを題材として取り上げており、学年、時期にも配慮した構成となっている。一人一人が課題・目的意識をもち、意欲的に学習に取り組むための「問い」「目標」をもとに、それぞれの考えを尊重しながら他者との対話を通して課題を解決していく協働的な学習活動になるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・第1～4学年用は分冊、第5・6学年は中学校との連携を考慮して学年1冊としている。教材を精選することでページ数を抑えている。1年間の学びの見通しをもち、学んだことを振り返るという主体的な学びへ誘うために第5・6年では学年1冊になっている。 ・文字学習の手本として手書き文字に近い独自の教科書体を使用している。文字が小さい箇所等には見やすく読み間違えにくいUDフォントが使用されている。色覚への多様性への配慮として、使用する色の組み合わせや形を変えたり、文字情報を加えたりする等の工夫がされている。 ・児童の負担を軽減するため、堅牢で薄い紙を開発し使用している。環境に配慮した紙、植物油インキで印刷されている。

教科：国語

種目：書写

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新編 新しい書写
教 出	1 7	小学 書写
光 村	3 8	書写

調査項目と着眼点 種目【書写】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C T を活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【書写】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・児童が「何ができるようになるか」を知って、そのために「何を学ぶか」「どのように学ぶか」がわかるように構成されている。どうすると整った文字が書けるかを考える教材を多く掲載し、主体的に取り組めるよう工夫がされている。 ・第2学年以上は「書写のかぎ」というマークで、学習事項のポイントが系統的に整理されている。 ・学習活動の展開が明確である。整った文字を書くためのポイントが短く分かりやすい言葉で明記されている。誰もがいつでも学べるよう配慮されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・「文字にこめた思い」では、いろいろな文字を見たり、書いた人の思いを想像したりすることで、自分の字を好きになるように意図的に構成されている。また、古典等の日本の伝統文化に触れる機会を設けている。 ・二次元コードが各学年ともに15個以上ある。動画が複数設定されており、分からないところを視覚的に学べるよう配慮されている。 ・言語活動が29か所位置付いており、低・高学年に多く設定されている。「書写のかぎ」で確認したことや学んだことを使い、他教科や学校生活に生かせるよう配慮されている。また、運筆の能力向上のため、文字によっては補助線が入っており、画と画のつながりが意識できる配慮されている。
3 印刷・製本等に関すること	・表紙は、見開きの状態を維持しやすい紙に耐久性を高める加工がされ、針金綴じで製本されている。用紙は、鉛筆で書き込みがしやすく、十分な強度を持ちながら軽量なものを使用する等、持ち運び等に配慮されている。 ・教科書体以外は、ふりがな等に読みやすいUDフォントを使用する等配慮されている。また、ユニバーサルデザインに配慮した配色になっている。 ・どの学年も「課題」「書写のかぎ」「生かす」「ふり返り」が同じ場所に位置付いており、見やすく、継続的に使用できるよう配慮されている。また、ポイントごとにイラストが取り入れられ、書く動きが動物の動きとリンクして表現されている。硬筆で課題を見出し、毛筆で学びを確かにし、その成果を硬筆で生かすという流れになっており、進めやすいよう工夫されている。

意見書 種目【書写】 発行者【教出】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・第3学年から「めあて」の横に「考えよう」が掲載されており、文字を書く原理・原則を見付けられるよう意図的に構成されている。他の課題に出会ったときに解決方法を見付ける力が育まれるよう工夫がされている。 ・第3学年の初めての毛筆学習では、最初に示された手本のページから文字の書き方を考える工夫がされている。第4学年でも同様の配慮をして、考えを深める工夫をしている。 ・学習活動の展開が明確である。課題について話し合い、練習した後、自分の文字の変容を自覚できるような工夫がされている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・「世界の文字」で、「かるた」や身のまわりにある文字について取り上げ、地域の特徴や文字から伝わる印象等、日常生活に広げられるように工夫されている。第3学年以上では、文字に関わる文化に触れられるよう配慮されている。 ・二次元コードが各学年ともに7個以上ある。一人一台端末を使って、運筆で分からないところを視聴することができ、学びを深める工夫がされている。 ・言語活動が31か所位置付いており、中学年に多い。身に付けた力を生かすことができるよう言語活動を数多く提示し、詳しく記載している。また、運筆の能力向上のため、「ここが大切」に、ポイントとなる筆使いの部分の写真と解説が端的に書かれている。
3 印刷・製本等に関すること	・表紙には、抗菌加工と撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い造本になっている。また、紙の強度を維持しつつ、できるだけ軽量の紙が使用されている。 ・手書き文字と近い形で学習できるUDフォントが使用されている。 ・最初に毛筆の手本が示され、「めあて」「考えよう」「ここが大切」「生かそう」「学習の始めと終わりに書こう」「ふり返ろう」が1ページにまとめてレイアウトされている。また、「まなびリンク」を活用し、学習意欲を高められるよう工夫されている。「レッツトライ」「かいてつたえあおう」コーナーで教科横断的に活用できるような構成になっている。

意見書 種目【書写】 発行者【光村】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・ 文字を書く楽しさや喜びを体感できるように、主体的に取り組める言語活動が多く提示されている。学習の前後での自己の変容を実感し、達成感を感じられるように学習内容が焦点化されている。 ・ 第1学年はスタートブックが充実している。水筆を体験することで「書く力」を高めている。第3学年では、毛筆学習の導入として、言葉や絵、動画を活用して、学習が進めやすいよう配慮されている。 ・ 学習活動の展開が明確である。文字同士を比較し、視点に沿った話し合いにより課題を見付け、練習し、課題を意識して書いたかを自己評価をする流れになっている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・ 書き初めの様子や、書写で使う道具、地域新聞等を通して、伝統と文化に親しめるよう工夫されている。第3学年では「美濃手すき和紙」が取り上げられており、道具がさらに身近に感じられるよう意図されている。 ・ 二次元コードが各学年ともに20個以上ある。動画が豊富に設定され、苦手な部分を繰り返し視聴できるよう工夫されている。 ・ 言語活動が21か所位置付いており、第4学年以上に多く設定されている。教科横断的な学びができるよう、教科や生活に生かせる関連教材が設定されている。また、運筆の能力向上のため、学年が進むにつれ、「(始筆・送筆・終筆)→「基本点画」→「点画のつながり」と)段階を追って学習できるように仕組みられている。
3 印刷・製本等に関すること	・ 針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮されている。また、強度が高く、鉛筆で書きやすい用紙が使用されている。 ・ 本文には書き文字と際の生じない書体を使用し、タイトルや「たいせつ」には、ユニバーサルデザイン書体が使用されている。 ・ どの学年も「ねらい」「学習の進め方・たいせつ」が同じ場所に位置付いている。キャラクターの動きや擬態語・擬音語を活用して、直観的に理解できるよう工夫されている。ユニバーサルデザインを意識した配色になっている。第4学年で「SDGsブック」、第6学年で「書写ブック」を掲載する等、児童の興味関心を引く工夫がされている。

教科：社会

種目：社会

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新編 新しい社会
教 出	1 7	小学社会
日 文	1 1 6	小学社会

調査項目と着眼点 種目【社会】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【社会】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・各時間に活用する見方や考え方を、4種類のマークとともに、具体的に示すことで、育成すべき三つの資質・能力がバランスよく育成されるよう意図されている。 ・学年間の関連について、巻頭に前学年と該当学年の学習内容の関連が示され、他教科との関連が分かりやすいよう工夫されている。 ・単元を「つかむ→調べる→まとめる→いかす」の学習段階をたどりながら、問題解決的な学習を分かりやすく進めることができるよう工夫されている。また、学習段階に応じた活動が例示されており、主体的・対話的で深い学びにつながるように工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・岐阜県内の事例・資料の掲載が豊富で、ふるさとに関する既習内容と関連付けて、新規・発展学習に取り組めるよう工夫されている。 ・I C T機器を活用した「調べる」、「まとめる」場面を掲載している。7種類のデジタルコンテンツがあり、児童が個別に思考を深めたり、仲間と共に学ぶ場でも活用したりできるよう配慮されている。第6学年国際分野のデジタルコンテンツは、まとめるためのワークシートが教科書に掲載されており、活用しやすいように工夫されている。 ・学習したことを仲間と振り返り、学習問題についてまとめることができるように構成され、文章でまとめる、討論する、説明する等多様な表現活動ができるよう意図されている。
3 印刷・製本等に関すること	・第5・6学年が分冊となっており、多くの児童に扱いやすい重さであり、持ち運びや収納しやすさにも工夫されている。 ・画像や地図等の図版が大きく同じ配置になっていることで、児童が学習しやすい工夫がなされている。白地を基調とし、文字は適切な太さであり、1行あたりの文字量が抑えられており、児童の文字への抵抗感を低減しようと意図されている。 ・本文は教科書体を採用しており、文字資料を色枠囲みする等配慮されている。イラストは視覚的に学習内容が捉えやすくなっている。

意見書 種目【社会】 発行者【教出】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・「学びのてびき」では、基礎・基本的な内容に即して学べるようになっていたり、単元の出口に「もっと知りたい」というページを位置付けたりして、児童の追究意欲が高められるよう配慮がされている。 ・巻頭に前学年や他教科との学習内容が示されることで、学年間や他教科の関連が分かりやすいよう工夫されている。 ・「社会科の学習の進め方」が設けられ、「つかむ→調べる→まとめる→つなげる」という問題解決的な学習の流れを確認し、見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。また、多様な表現活動が示されることで、対話的な学習を効果的に進めやすくなるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・全学年において、岐阜県に関する事例・資料が掲載されており、4年間を通して、ふるさとと関連付けて学習することができるように工夫されている。 ・二次元コードが内容ごとに分類されており、児童の意欲を高めたり、授業での個人追究や家庭学習に利用したりできるよう意図されている。 ・「つなげる」ページでは、社会的な「選択・判断」をしたり、地域や社会のこれからについて「構想」したりして、仲間と多様な対話活動ができるように工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・第3学年から第6学年まで、各学年1冊にまとめられており、既習内容を振り返ることができるよう工夫されている。 ・UDフォントを採用したり、文字を太くしたりしている。白黒写真をカラー化することで、当時の様子が豊かにイメージできるよう工夫されている。 ・キャラクターとして、外国にルーツを持つ児童や障害のある児童が設定されており、多様性について配慮されている。

意見書 種目【社会】 発行者【日文】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・「学び方・調べ方コーナー」では、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」を位置付けて、児童が主体的に学べるように意図されている。 ・巻頭に該当学年、巻末には該当学年と次の学年の学習内容が示されている。第3学年では、絵グラフを採用することで、段階に応じて児童が学びやすいよう配慮されている。 ・3つの学習過程をたどりながら、問題解決的な学習ができるように工夫されている。また、単元のまとめでは、話し合い活動が設定され、主体的・対話的で深い学びにつながるよう意図されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・「低地に住む人々の暮らし」では、海津市が掲載され、ふるさとの特徴を踏まえ、自らの生活と関連付けやすいように配慮されている。 ・8種類のデジタルコンテンツが、児童の思考の助けとなっている。デジタルコンテンツによって、持続可能な社会への意識を高めるように意図されている。地図のシミュレーションは色分け表示により都道府県を意識できるよう工夫されている。 ・「学び方コーナー」の「深め合い」の進め方をもとに、学年に応じた話し合い活動を通して、優れた表現や異なる視点の考えを比較したり関連付けたり、統合したりすることで多様な思考や理解の定着に導くことができるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・第3学年から第6学年まで、各学年1冊にまとめられており、学年の既習内容を振り返りやすいよう工夫されている。 ・キャラクターの考えを記号で示すことで、児童が注目しやすく、児童の追究・解決する手立てとなるように意図されている。 ・文字資料を色枠囲みしたり、見出しに下線を引いたりし、視覚的に見やすいよう工夫されている。また、単元導入の画像は大きく見やすい。SDGsの目標シールが添付され、いろいろな場面で活用できるよう工夫されている。

教科：社会

種目：地図

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新しい地図帳
帝 国	4 6	楽しく学ぶ 小学生の地図帳

調査項目と着眼点 種目【地図】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【地図】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・児童が興味・関心をもって学習に取り組むために、地図や資料の活用の手がかりをキャラクターが吹き出しで投げかけている。また、写真資料を105か所設け、視覚的に捉えて理解しやすいように配慮されている。 ・初めて地図帳を扱う第3学年の児童にも無理なく地図の仕組みと約束事が分かるように、地図のきまりや地図帳の使い方を8ページにわたってまとめられている。 ・「ホップステップマップでジャンプ」のコーナーが設定されており、地図を見ながら取り組むクイズや作業を通して、楽しみながら地理的な見方・考え方を身に付けることができるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・海津市の地形の特色を地図や写真、動画等の複数の資料を通して学ぶことができる。また、県内の歴史的景観や祭り等の伝統文化についても、その分布について学ぶことができるように配慮されている。 ・学習を支援する二次元コードが合計39個あり、多様なデジタルコンテンツが収載されている。そのため、様々な学習や活動等で活用し、主体的に学んだり、知識・技能を身に付けたりすることができるよう配慮されている。 ・写真資料が多く掲載され、子どもの目線で興味・関心が広がる工夫がされている。個の学習状況に応じて資料を選び、課題解決的な学習ができるように配慮されている。
3 印刷・製本等に関すること	・A4版で、102ページ、348gと軽量で、持ち運びやすい。 ・土地の高さや土地利用等、必要な情報がわかりやすく見やすく記載されている。日本の100万分の1の地図には、田、畑、果樹園等の地図記号が掲載され、各地の土地のすがたがわかりやすいよう配慮されている。 ・目次や索引では、都道府県名を赤文字、市町村名と名所、世界遺産を記号で分類しており、色覚特性の児童への配慮がされている。

意見書 種目【地図】 発行者【帝国】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・児童が興味・関心をもって学び、知識・技能の習得ができるよう、作業的な学習が多く位置付けられている。また、資料図の項目において、防災やSDG s等の今日的な課題に対しての取組を考察する活動が位置付けられている。 ・初めて地図を扱う第3学年では、方位や地図記号、索引や縮尺等、地図のしくみや活用するための基礎的な知識・技能が14ページあり、段階的かつ丁寧に扱われている。 ・児童が主体的に地図帳を活用できるように、地図帳全体に「トライ！地図マスターへの道」のコーナーを設置し、地図活用のスキルや社会科の知識を身に付けたり、社会的な見方・考え方を働かせたりすることができるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・岐阜県の地形の特色や伝統文化等の身近な事例について、地形図やイラスト、写真資料を掲載して、児童が興味・関心をもって学習できるように配慮されている。 ・学習を支援する二次元コードが合計49個あり、アニメーションによる解説やクイズ、動画等が600個以上と、豊富に収録されている。一人一台端末を活用し、主体的に学んだり、知識・技能を身に付けたりすることができるよう配慮されている。 ・地図帳の使い方を説明する資料が豊富であり、自分で確認しながら学習が進められるよう工夫されている。また、資料図や統計資料も豊富であり、個の学習状況に応じて資料を選び、補充的・発展的な学習ができるように配慮されている。
3 印刷・製本等に関すること	・A4版で、132ページあるにもかかわらず378gと比較的軽量で、持ち運びやすく、丈夫なつくりである。 ・通常4色インキにクサ色を加えた5色を使用することで、山脈や山地の高まりを立体的に表現し、鮮明で見やすくなるよう工夫がされている。 ・目次や索引で、同じカテゴリーのものを色や記号で分類している。加えて、都道府県を赤、歴史地名を青、世界遺産を緑でも色分けし、見やすくなるよう配慮されている。

教科：算数

種目：算数

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新編 新しい算数
大日本	4	新版 たのしい算数
学 図	1 1	みんなと学ぶ 小学校 算数
教 出	1 7	小学算数
啓林館	6 1	わくわく 算数
日 文	1 1 6	小学算数

調査項目と着眼点 種目【算数】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【算数】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・既習内容を生かして考える態度や力を育む吹き出し「同じように考えると」、発展的に考え理解を深め、見方・考え方を再確認する補助発問「それなら」、自立的に学びを切り拓く態度や力を育むページ「それなら次は」を位置付け、三つの柱をバランスよく育成できるよう構成している。 ・「単元プロローグ」において「既習内容を振り返り学習課題をつくる活動」、「問題解決の過程において、既習内容とのつながりを促す吹き出しや補助発問で、後の学習の素地づくりをする活動」等を取り入れ、学びの系統性や連続性を意識できるように配慮されている。 ・「学びのとびら」や「今日の深い学び」で、学び方を理解できるようにしている。また、「マイノート」で、ノートの書き方を示し、ノートを用いて数学的な見方・考え方を働かせ、学びが深まるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・自分の住んでいる都道府県や市区町村の人口密度を調べたり、面積を調べたりする学習を取り入れ、ふるさととつながるよう配慮されている。 ・思考を支援するシミュレーション、デジタル版の練習問題をはじめ、単元の学習につながるオープニングムービー、単元プロローグ、プログラミング等のデジタルコンテンツが充実しており、二次元コードで活用できるように配慮されている。 ・一問一答による内容理解から発展させ、より深く考えることを重視したり、あえて不完全な考えを取り上げて完全なものにするための考察を促したり、解決後に新たな問題を見出しさらに追究できるようにしたりする等、自他の考えを比較検討できるようにするよう配慮されている。
3 印刷・製本等に関すること	・全学年分冊となっている。また、第1学年の始めの1冊のみA4判、他はB5判となっており、重量に配慮されている。 ・字体は認識のしやすさや分かりやすさに配慮し、UD教科書体を使用している。色彩は、目に優しい中間色を基調にし、使用する色数を限定して、鮮明なデザインで分かりやすいよう配慮されている。 ・巻末には「さくいん」があり、自力で復習や関連した学習をすることができる。

意見書 種目【算数】 発行者【大日本】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・様々な場面で活用できる数学的な考え方を「ひらめきアイテム」とし、繰り返し使えるように配慮している。単元末には、「学んだことを生かそう」や「読み取る力をのばそう」が位置付けられており、算数の学習を進んで生活や学習に活用できるよう工夫されている。 ・目次において、単元と既習内容、単元と次学年の学習内容とのつながりが記載されたり、導入で、既習内容から本単元の内容に関わる疑問を投げかけたりする等、系統性に配慮されている。単元末には、「算数たまたまばこ」、「なるほど算数教室」が位置付けられており、発展性に配慮されている。 ・巻頭の「算数の学び方」において、対話的な学びの方法が例示されている。また、「じっくり深く学び合おう」の時間では、多様な解決方法を比較検討して話し合う活動を通して、深い学びにつながるよう配慮されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・岐阜県になじみの深い写真が多く取り上げられている。また、「なるほど算数教室」では、岐阜県につながる話題等が取り上げられており、ふるさと教育につながる工夫がなされている。 ・プログラミング教育に対応したページが全学年に設けられ、系統的にプログラミング的思考が身に付くよう配慮されている。また、デジタルコンテンツが多数用意され、I C Tを活用して理解を深めることができるよう工夫されている。 ・導入で、単元を見通した課題づくりをすることで、意欲的に学ぶことができるよう工夫されている。また、単位時間では、問題提示が記載されたページの裏面に考え方等が記載され、問題にじっくり取り組むことができるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・第1学年は、A4判とB5判の別冊となり、重量の配慮がされている。第2学年から第6学年では、学習ノートと同じB5判であり、扱いやすいよう配慮されている。 ・UDフォントで、見やすく、認識しやすい書体を採用している。また、色彩は、カラーUDをふまえた色遣いや紙色が目に優しく、長時間見ても疲れにくいよう配慮されている。 ・巻末に「さくいん」コーナーを位置付け、大切な算数用語をまとめている。

意見書 種目【算数】 発行者【学図】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・単元末では、「考え方モンスター」を活用した振り返りの場面があり、見方・考え方の定着を図ることができるような工夫がされている。巻末の「ふかめよう」では、記述式の問題が多く、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりする力を鍛えられるように工夫されている。 ・目次において、各単元と既習内容のつながりだけでなく、単元と次学年の学習内容とのつながりも記載されており、系統性に配慮されている。 ・単元の導入で、主体的に取り組めるよう、身のまわりや算数の学習の中で疑問に思う事例を取り上げている。また、他者の意見を考察する場面や話し合いの場面をイラストで表現することで、対話的な学びとなるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・対称な図形では、全ての都道府県のマークを扱い、ふるさととつながる学習となるよう工夫されている。 ・動画を見たり、自分で動かしたりして学ぶことができるよう、二次元コードのそばに、動画・操作・全学年・問題・資料の5つのマークが示されており、デジタルコンテンツがどのような内容なのか分かるようになっている。 ・単元末の「できるようになったこと」では、自己評価ができるチェック欄を設けることで、成果と課題を踏まえて自分で学習を進めていけるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・全学年AB判で、第1～5学年では、上下分冊、第6学年のみ合冊となっている。加えて、中学に向けての別冊があり、中学への連携が図られている。 ・すべての文が分節改行されており、意味を捉えることが苦手な児童にも読みやすくなるよう工夫されている。文字は、UDフォントを使用し、数字は、文字より太い書体を特別に作ることで、文字との区別がより明確になるように配慮されている。 ・算数用語が巻末に掲載されている。また、第5・6学年では、英語表記も加えられていて、児童の興味・関心を引き出すことができるよう工夫されている。

意見書 種目【算数】 発行者【教出】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・単元末において、「まとめの問題」の前に「学んだことを使おう」が位置付いていることで、数量や図形の性質、計算の仕方等、その単元で学習した内容と結び付けて統合的に考えたり、そのことを基に発展的に考えたりする力が身に付くように構成が工夫されている。 ・目次において各単元と既習内容のつながりが記載されていたり、単位時間の中に「つながるミカタ」が位置付けられたりする等、既習内容や数学的な見方・考え方との系統性に配慮して構成されている。 ・主体的に取り組むために、「はてな」「なるほど」「だったら」と学びの進め方が位置付いていたり、対話的な学びを通して見方・考え方を深めたりするよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・単元「割合とグラフ」の後に、「身のまわりのデータを活用しよう」が位置付いており、データを集めて目的に合った情報を選んだり、見やすく整理したりできるようになっている等、既習学習を生かして学べるように構成が工夫されている。 ・学習に役立つ情報をデジタルコンテンツ「まなびリンク」として位置付けてあり、動かして考えたり、動画で確かめたりできるよう工夫されている。 ・単元末に、「学んだことを使おう」、「ふり返ろう」、「たしかめよう」の問題が位置付いており、学習したことを活用し、「何ができるようになったか」を実感できるように工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・全学年B5判で、第1学年と第5・6学年は合冊、第2～4年は、別冊になっている。また、学年の発達段階に考慮した重さになっている。 ・UDフォントを使用したり、色覚等の特性に配慮されたカラーUDを使用したりする等、どの児童にも認識しやすく読みやすいよう配慮されている。 ・巻末に算数用語を「索引」としてまとめ、算数用語が使用しやすいよう配慮されている。また、第1学年で「もののかずのかぞえかた」が掲載されている等、児童の語彙が豊かになるように工夫されている。

意見書 種目【算数】 発行者【啓林館】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・単元末に、知識・技能や大切な見方・考え方等を確認する「たしかめよう」、「ふりかえろう」が位置付いており、「学びをいかそう」では、算数の有用性を感じ学び続ける態度を育むよう工夫されている。 ・目次では単元と次学年の学習内容とのつながりが記載されており、単元の導入では、既習内容や日常の場面から本単元の内容に関わる疑問を投げかけ、系統性に配慮された構成になっている。 ・児童自らの問いや気付きを取り上げ、児童から「めあて」を引き出せるように展開している。また、児童自らの考えや発言を例示し、伝え合う活動を通して「まとめ」がうまれるよう配慮されている。さらに、学びが深まるよう「数学的な見方・考え方」にマーカーを付して強調する等工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・平均の学習の後には、「学びをいかそう」として、防災マップを取り上げ、身のまわりの地図をもとに、自分が調べた歩幅で道のりを調べる等配慮されている。 ・二次元コードを掲載し、理解を促す動画や補充問題等を参照できるよう配慮されている。単元の入口では、「じゅんび」が、出口では、「たしかめよう」に関する情報が取り上げられている。 ・「算数のとびら」として、まず算数の学習の進め方が示してある。単位時間では、自分の考えをもち、みんなで話し合いながら学習を深めるよう配慮されている。巻末の「もっと練習」では、練習問題とは別に少し程度の高い問題を掲載し、習熟度別の学習に対応できるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・全学年B 5判で、第1学年のみ1冊目がA 4判になっている等児童が扱うのに、妥当な大きさになっている。また、第2学年から第4学年は分冊にし、重量が配慮されている。 ・太さの強弱を抑えてUDフォントを採用している。紙面を文字でぎっしり埋めず、書き込みスペース等を設定して余白を確保し、視覚的に内容が捉えやすいようにしている。 ・製本は、開きやすさや書き込み等の作業のしやすさに配慮し、「あじろ綴じ」製本を採用している。また、第1学年より索引を設定し、6学年を通して、多くの算数用語が掲載されている。

意見書 種目【算数】 発行者【日文】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・単元末には、「まちがいやすい問題」と「見方・考え方をみがこう」が位置付いており、数学的な見方・考え方の力の定着を図る工夫がされている。 ・目次において、各単元と既習内容のつながりが記載されており、系統性に配慮されている。単元の導入では、学習内容につながる既習事項を振り返る「次の学習のために」のページがあり、系統性に配慮されている。また、「なるほど算数」では、発展的内容や次学年での学習につながる内容が記載される等、系統性や発展性に配慮されている。 ・巻頭の「さあ、算数の学習をはじめよう！」では、問題解決の過程を示し、自分の考えを表現したり、他者と協働して取り組んだりする場面が例示してある。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・「さらに深めていこう！」と、インターネットを利用して、総務省や気象庁、文部科学省、農林水産省の情報が検索できるように配慮してある。 ・デジタルコンテンツには、「動かす」「見る」「かくにん」「ヒントと答え」のように、どのような目的で活用すればよいかを示されており、自ら学習を進められるように工夫されている。 ・既習事項を活用して自分で問題を解き、自分の考えを説明して仲間と考えを出し合うように場面が設定されている。めあてとまとめが提示されており、1 時間の流れが児童たち自身に分かるように配慮されている。
3 印刷・製本等に関すること	・全学年B5判で、第5・6学年のみ合冊として、重さや扱いやすさに配慮している。 ・UDフォントを使用したり、当該学年以上の漢字にはルビをふったりして、読みやすさに配慮されている。また、第5・6学年にはしおりのひもを付け、教科書のどこを学習しているかが分かるように工夫されている。 ・第2～6学年の最終ページに索引があり、算数用語等をまとめて、算数の語彙が増えるよう配慮されている。

教科：理科

種目：理科

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新編 新しい理科
大日本	4	新版 たのしい理科
学 図	1 1	みんなと学ぶ 小学校 理科
教 出	1 7	未来をひらく 小学理科
信 教	2 6	楽しい理科
啓林館	6 1	わくわく理科

調査項目と着眼点 種目【理科】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【理科】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・実験方法と結果・考察が表裏になるように構成され、児童が安易に結果を目にすることなく、目的意識をもって実験・観察に取り組むことができるように工夫されている。また、身近にある物でできる実験が提示され、より児童が主体的に取り組みやすいよう工夫されている。 ・単元末では「こんなところにも！」のコーナーにおいて、学習内容と様々な職業とのつながりが示され、身の回りの生活につながるとともに、キャリア教育との関連が図られている。 ・単元の導入だけでなく、「予想しよう」「考察しよう」の場面においてもキャラクターの会話がイラストで示されており、児童が対話的な学びのイメージをもつことで、より主体的な学びへとつながることができるよう意図されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・資料「理科の世界たんけん部」には、学んだことが日常生活で利用されている事例を数多く取り上げ、理科の有用性を実感できるよう工夫している。また、全都道府県の自然の様子が写真掲載され、住んでいる地域周辺の様子を他地域と比較できるよう工夫されている。 ・一人一台端末の活用場面も豊富に取り上げられている。二次元コードの数が多く、どのようなコンテンツかの説明が明確である。授業の流れに沿った位置に配置されており、利用しやすく工夫されている。予想と考察にも発言例があり、それを参考に児童が話し合うことができるように配慮されている。 ・学ぶ前と学んだ後に同じ問いかけに答え、その答えを比べることで自分なりの成長を実感できるようになっている。また、児童の発言例がイラストで示されており、個人で考える際のヒントや土台になるよう配慮されている。
3 印刷・製本等に関すること	・厚さ7.5～8mm、重量は370～435gで製本されている。 ・全ての文字に、見やすく読み間違えにくいよう開発されたユニバーサルデザインの書体が使われている。また、色覚の多様性に配慮し、多色の使用を控え、全体の色調を緑とオレンジで統一している。 ・「理科の学び方」として、問題解決の各段階のポイントと流れを示し、1段組みで、問題解決の過程が分かりやすい紙面となるよう工夫されている。また、全体的に写真が多く、興味関心をもてる教材が位置付けられている。

意見書 種目【理科】 発行者【大日本】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・第4～6学年には、「問題を見つけるコツ」「予想するコツ」「計画を立てるコツ」「実験のコツ」「結果を記録するコツ」「考察するコツ」の記載があり、より児童が主体的に問題解決の能力を身につけることができるよう配慮されている。 ・既習内容とのつながりが、単元のはじめだけでなく、実験や予想のページ等にも記載されており、児童が振り返りやすいように工夫されている。また、発展内容のページには、SDGsのマークが記載されているものがあり、教科横断的な学習につながっている。 ・問題を捉える部分と考察する部分に「ココに注目」という教師役のキャラクターがヒントを話す挿絵があり、児童が問題を捉え、自分の考えを持ちやすくなるように工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・「りかのたまてばこ」では、環境や防災、SDGs等を表示し、理科で学んだことがどこに活用されているかが分かり、理科の有用性を実感できる資料が多く取り上げられている。 ・一人一台端末をどの場面でどのように活用していけばよいか紹介されていたり、器具の使い方等の豊富なデジタルコンテンツが記載されたりし、児童が一人一台端末を活用しやすいよう配慮されている。 ・導入や考察場面では、「ココに注目」で着眼点を示し、児童が理科の見方・考え方を働かせて考えることができるように工夫している。また、登場するキャラクターの言葉は、結論までの全文を示さず、児童自らが考えることができるよう意図されている。
3 印刷・製本等に関すること	・厚さ8～8.5mm、重量454～531gで製本されている。 ・全ての文字に、見やすく、読み間違えにくいよう開発されたユニバーサルデザインの書体が使われている。また、動植物名や外来語はカタカナで表記されている。 ・「りかのたまてばこ」「サイエンスワールド」等の発展的な資料が充実している。

意見書 種目【理科】 発行者【学図】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・「理科モンスター」というキャラクターを設定し、児童に身に付けさせたい力をイメージしやすいように工夫されている。児童役キャラクターが疑問や発見したことを会話する挿絵があることで、何を考えるのか、何に着目すればよいか、どのように表現すればよいのかが分かるように工夫されている。単元末には「理科モンスター」と児童役キャラクターが振り返りの見本を示しており、児童自身が自分の学習や変容を意識できるよう工夫されている。 ・単元の導入ページに、既習内容との関連が明記されている。また、そのページに記載されている二次元コードを活用することで単元に必要な知識や技能の復習ができるよう工夫されている。 ・1つの単元の中に複数の発展的な内容「もっとしりたい」「やってみよう」が位置付けられ、児童の知的好奇心を満たす発展的な展開や児童の主体的な学びにつながるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・「もっとしりたい」の資料には、学校や通学路での防災等、安全教育が多く取り上げられている。また、大地や川等の自分たちの住む地域について学習できるように工夫されたりして、主体的な学びにつながるよう配慮されている。 ・動きのあるものを記録する例や、協働的に考えたり記録したりする例を多く取り上げ、具体的な活動の中で、効果的に一人一台端末を活用できるように工夫されている。 ・多様な学習活動を例示し、児童が選択できるよう工夫されている。また、興味や関心、特性に応じて、様々な表現方法があることを例示することで、互いに学び合えるように配慮されている。
3 印刷・製本等に関すること	・厚さ426～530mm、重量426～530gで製本されている。 ・文字は読みやすいようにユニバーサルデザインの書体を使用している。 ・学びの深まりに応じて、理科で身に付けたい力を「理科モンスター」として表記し、児童が楽しみながら学習の深まりをイメージできるよう工夫されている。

意見書 種目【理科】 発行者【教出】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・児童が学習内容を確実に理解できるように、大切な用語はフォントを変えるだけでなく、黄色で印をつけて強調している。また、実験方法については、より実際の様子に近い図を示すことで、児童が安全に実験できるように配慮されている。 ・どの学年においても、巻頭の「自分たちの考えをつたえ合い、学び合おう」では、国語で学んだ力を活かす方法を説明している。また、単元中や巻末の「算数とのつながり」では、学んだことと算数との関連がわかるようにする等、他教科との関連を図っている。 ・児童の思考が連続するように展開が工夫され、キャラクターの言葉を参考にしながら児童が主体的に学ぶことができるよう配慮されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・環境に関わる学習では、特設単元を設け、自然災害に対する備え等、理科で学んだ知識と関連付けた日常生活の取組が多く紹介され、理科の有用性を実感できるよう配慮されている。 ・「まなびリンク」によってインターネット上の情報を活用できるように工夫されている。また二次元コードが教科書の同じ位置に付けられ、見付けやすいように工夫されている。 ・観察・実験については、手順を縦1列に配置して矢印のラインを付け、手順の文とイラストや写真に対応させることで、誰もが容易に読めるように配慮されている。
3 印刷・製本等に関すること	・厚さ8～9mm、重量425～494gで製本されている。 ・難しい漢字にはふりがなが付されている。また、重要語句は太字・黄色囲みで、見方・考え方がピンクで強調されている。さらに、色覚の個人差を問わず、より多くの人が見やすいようにカラーユニバーサルデザインに配慮した紙面になっている。 ・巻末資料で、「観察・実験」「図鑑」「まとめ」「発展内容」「科学者の紹介」等が掲載され、実験・観察に必要な内容や発展学習、生活に繋がる内容が取り上げられ、学びに向かう力の育成に向けて工夫されている。

意見書 種目【理科】 発行者【信教】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・全単元を通して、児童の言葉を使い、図・グラフ・表等を用いて表現することで、自分の考えを分かりやすく伝えるための表現力を養うことができるように配慮されている。 ・学習事項と生活との関わりを見直すことで、教科横断的な学習につながるように配慮されている。 ・観察カードの記述やキャラクターのセリフに具体性をもたせることで、導入・展開・終末のどの場面においても、児童が主体的に交流できるように工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・児童が自然の大切さに気付き、生命を尊ぶ心情や自然を愛する心情を育めるような展開で構成されている。 ・生活との関連付けを図りながら、プログラミングを体験できる活動が行えるように工夫されている。 ・単元の学習展開に「やってみよう」のコーナーを設け、学習の中での観察・実験とは別の方法によって自然の事物・現象を調べたり、考察を深めたりする等、多様な追究の方法を体験できるように意図されている。
3 印刷・製本等に関すること	・厚さ 8 ～ 9 mm、重量 4 2 5 ～ 4 9 4 g で製本されている。 ・難しい漢字にはふりがなが付されている。また、重要語句は太字・黄色囲みで、見方・考え方がピンクで強調されている。さらに、色覚の個人差を問わず、より多くの人が見やすいようにカラーユニバーサルデザインに配慮した紙面になっている。 ・巻末資料で、「観察・実験」「図鑑」「まとめ」「発展内容」「科学者の紹介」等が掲載され、実験観察に必要な内容や発展学習、生活に繋がる内容が取り上げられている。

意見書 種目【理科】 発行者【啓林館】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・実験器具の使い方を必要な場面で確認することができるように、巻末ではなく単元の流れの中に位置付け、確実に実験技能が習得できるよう工夫されている。また、単元末の「たしかめよう」では、学習内容を使って考える発展的な問題が設定され、学習内容の定着と思考力・判断力・表現力の育成が図られている。 ・「くらしとリンク」のコーナーでは、身の回りで使われている例が示されており、学習内容が身の回りの生活につながっていることを実感できるように工夫されている。 ・「考察しよう」の場面では、児童のニーズに応じて、学習内容を確認することができる等、児童の考察をサポートする資料が準備されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・「With the Earth」のコーナーを設け、防災、減災、自然からの恵みを紹介することで、自然への理解や持続可能な社会を考えることにつなぐことができるよう工夫されている。その際、一人一台端末を活用した調べ学習や、仲間との交流により危険を予測する力を身に付けることができるように配慮されている。 ・どの学年でも、情報を集めるだけではなく、結果を整理したり、感動を共有したりするような場面において、一人一台端末が活用できるという例を示している。 ・単元末の「まとめノート」で、誰もが同じように単元の学習の要点を振り返って整理することができるようになっている。
3 印刷・製本等に関すること	・厚さ8～8.5mm、重量397～427gで製本されている。小学生の机上スペース内で取り扱いやすいA B版になっている。 ・難しい漢字にはふりがなが付されている。重要語句は太字で、見方・考え方は緑色で強調されている。 ・巻末資料に、「かく」「伝える」「しせつの活用」「算数のまど」「ものづくり広場」「理科の見方・考え方」が掲載され、理科に必要な技能を確認することができるよう取り上げられている。

教科：生活

種目：生活

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新編 新しい 生活
大日本	4	新版 たのしいせいかつ
学 図	1 1	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ
教 出	1 7	せいかつ
信 教	2 6	せいかつ
光 村	3 8	せいかつ たんけんたい
啓林館	6 1	せいかつ

調査項目と着眼点 種目【生活】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【生活】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・ 絵や写真、動作化、I C Tを使用した作品等多様な振り返り活動の例が示されている。また、学習活動や思考の流れに沿ったイラストを用い、資質・能力の三つの柱が育成されるよう工夫されている。 ・ 幼児教育からの接続や他教科との関連がイラストや写真を通して、効果的・系統的に配置されている。「保護者の皆様へ」と題して、入学当初に大切にしたいことを保護者に伝えるよう意図されている。 ・ 「学びを深める」コーナーの設置により、言語活動を通して気づきを関連付けたり、視点を変えて捉え直したりする等の気づきの質が高まるような工夫がされている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・ 昔から伝わる伝承遊びや草花遊び、伝統行事等が多く掲載され、地域への愛着をもてるよう配慮されている。 ・ 写真、ビデオ通話、動画、大型モニターを用いたプレゼンテーション等、生活科におけるI C T機器の有効な活用例が随所に掲載され、児童の気づきの質の高まりを促す工夫がされている。 ・ 吹き出しを効果的に使い、活動や体験を通して得た気づきを伝え合う姿や、多様な他者と関わる学習活動の様子が具体的に例示され、協働的な学びにつながるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・ A 4 版の紙面に、図や写真を大きく配置している。軽量の専用用紙を使用したり、デジタルコンテンツを充実させたりし、重くならないよう工夫している。 ・ パノラマページでは、植物の成長の様子がひと目で分かるよう、用紙の幅を変えて掲載する等、興味を喚起し、気づきを自覚できるよう、製本が工夫されている。 ・ 紙面とデジタルコンテンツで「いきものずかん」を掲載する等、児童の興味・関心に応じて選択し、閲覧できるよう工夫されている。

意見書 種目【生活】 発行者【大日本】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・ 単元と単元の接続では、活動後の振り返りから、児童の思いや願いをもとに次の活動へとつながる流れを意識して紙面が構成されている。 ・ 下巻最終単元は、児童がこれまでの成長を振り返るとともに、これからの自分を想像し、自信と意欲をもって第3学年以降の学習に臨めるように工夫されている。 ・ 体験活動と表現活動が繰り返される構成や、気づきを共有する場の設定により、気づきの質を深めることができるよう配慮されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・ 季節に関連した昔遊びや地域の行事を紹介し、地域に親しみや愛着をもち、積極的に関わるができるように工夫されている。 ・ 児童が学習活動でタブレット端末を活用している様子が紹介されており、情報活用能力・情報モラルの育成を図ることができるように配慮されている。 ・ 「がくしゅうどうぐばこ」と題して学習の視点を提示している。さらに、「Web がくしゅうどうぐばこ」として、生き物や草花の名前、野菜の栽培方法等、児童の興味関心に応じて学習を広げることができるような資料が掲載されている。
3 印刷・製本等に関すること	・ A4判で構成されており、図や写真を大きく掲載できるよう、配慮されている。 ・ 単元の導入は、見開き2ページの写真で構成され、「やってみたい。」という気持ちを高めたり、立ち止まって考えたり、イメージを膨らませたりする効果が意図されている。 ・ 巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が掲載されており、活動の際、必要に応じて参照できるよう工夫されている。

意見書 種目【生活】 発行者【学図】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・各単元冒頭では、子どもの思いや願いを喚起する台詞を示すことで、具体的な活動を通して児童自身が解決していくことを促すよう工夫されている。 ・活動や体験の場が、上巻では学校や学校の周辺、下巻では地域へと広がっている。また遊び単位では、上巻では「季節に応じた自然を利用した遊び」、下巻では「動くおもちゃ作り」を位置付け、内容的な深まりがあるよう意図されている。 ・各単元の出口には、「もっと ○○」と題したコーナーが設けられ、児童自身の学習活動をより発展させていけるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・日本の伝統的な行事や遊びを写真やイラストで示すことで、日本の伝統文化のよさを体感できるように工夫されている。 ・情報の収集の場面や発信場面では、カメラやビデオ機能、インターネット等、ＩＣＴ機器を用いた様々な手段を例示している。 ・「ものしりノート」「ものしり図かん」等と題して発展的な資料が豊富に掲載されており、児童の思いや願いに応じて参照することで、個別最適な学びを支援できるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・ＡＢ判で、児童が手に取りやすく、机の引き出しから出し入れしやすいよう意図されている。 ・各ページの写真や絵が大きく、色が鮮明で分かりやすい。児童の学習プリント・新聞・作品等が数多く掲載されていて、児童の手本となるよう配慮されている。 ・巻末の「学び方図かん」は、多くの単元で使える技能が集約されている。目次は、いつごろどの内容を学習するのか児童にも分かりやすいよう配慮されている。

意見書 種目【生活】 発行者【教出】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・小単元名の左側に、「きづく」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちょうせんする」「じしんをもつ」の観点を示すことで、めあてをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・幼児期までに育ってほしい姿がイラストで、小学校生活の同じ姿が写真で掲載されていることで幼児期の学びが生活科や他教科に移行していくことが捉えやすくなるように配慮されている。 ・各単元に示された「はっけんロード」をたどりながら学習を進めたり、「はてな」の言葉を手がかりとして学びを深めたりすることができるように工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・地域の特色を生かした活動や行事の写真等が掲載されており、地域の慣習や、全国各地の季節ごとの伝統行事に目を向けられるよう配慮されている。 ・I C T機器を使用した学習活動ができるように追究、共有、表現の活動が配置されている。巻末には情報の扱い方に関する注意事項が掲載され、必要に応じて参照できるよう工夫されている。 ・「つたえる」のコーナーでは、児童の協働的な学習活動が紹介されている。また、問いかけの言葉が多数掲載されており、フローチャートやめいろを用いて、個別に課題をもち追究できるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・A 4 版で大きく、図や写真が見やすいよう配慮されている。 ・学びの重点を示すサイコロのマークがあり、小単元で最も育てたい資質・能力が児童に分かりやすいよう工夫されている。 ・単元始めのページの下部に、これから学習する単元はどの位置にあるのかを示すことで、見通しがもてるように工夫されている。巻末「学びのポケット」のコーナーでは、技能や安全面での注意事項がまとめられ、参照しやすいように配慮されている。

意見書 種目【生活】 発行者【信教】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・各単元での振り返りの場면을大事にし、児童が自分や友達的生活・地域とのかかわり等を通して自分の成長に気付くことができるよう工夫されている。 ・幼保園で育ってきた自分自身に自信をもち、新たな学校という環境に意欲的にかかわっていかうとする姿勢を示すとともに、規則正しい一日の生活の流れや友達・先生・地域の人々とかかわりも示されている。 ・児童が思いをこめてひたすら活動に打ち込む姿、比べたり試したりすることで得られる手応えを感じ取り、気付きの質を高めていく姿を挿し絵や写真で表し、活動への意欲につながるように配慮されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・地域の自然や公共施設について繰り返し取り上げた内容構成がなされ、多様な気付きや発見の喜びを感じ、ふるさとへの愛着が深められるよう工夫されている。 ・聞き取りやインタビューとその方法の立案、地域調べ等の具体例が掲載され、デジタルカメラや一人一台端末等の I C T 機器を活用して活動することができるよう工夫されている。 ・児童が比べたり試したりする姿や自他との関わりを通して思考したり、追究したりする姿を挿し絵や写真で表すことで、気付きの質を高めたり、成就感を高めたりできるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・ U R L ・二次元コードを目次に示し、図鑑的要素が盛り込まれている。 ・単元展開をリードする主人公として、「さとこ」「まこと」を登場させ、その家族や友達、担任の姿も描くことにより、教科書に物語性をもたせている。また、単元名、小単元名ともに児童の言葉で示している。

意見書 種目【生活】 発行者【光村】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・すべての単元に設定されている「振り返ろう」を位置付け、振り返りの内容をマークで表している。マークは、資質・能力の三つの柱に分かれており、各単元で育成する資質・能力が分かりやすいよう配慮されている。 ・上巻巻頭「いちねんせいが はじまるよ」では、見開きの左ページの絵を見て関心をもち、右ページの写真を手がかりに活動を進められるよう意図されている。 ・写真やイラスト、吹き出しによって児童の困っている様子を取り上げ、対話を通して新しい気づきが生み出されるよう配慮されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・日本の伝統文化や季節の行事等について、様々な地域を取り上げることで、児童が身近な伝統・文化に目を向けられるようにしている。 ・I C T機器等の活用例が提示されている。一人一台端末の活用についても、気づきの質を高められるよう、意図的・計画的に位置付けられ、学習活動の充実につながる工夫がされている。 ・「学習活動の流れ」と「資料」を本編と資料編に分けて収録することで、一人一人の思いや願いに応じて活用しやすいよう工夫されている。また、イラストや吹き出しを多用することで、児童が興味をもって考えを広げることができるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・A 4 判で図や写真が大きく見やすいよう配慮されている。 ・優しいタッチのイラストが多く掲載されており、児童の発想が広がるように配慮されている。 ・上巻が切り離して屋外で使えるよう工夫されている。また、表紙と裏表紙には厚みがあり、児童が必要に応じて持ち歩き、自発的に確認することができるよう意図されている。

意見書 種目【生活】 発行者【啓林館】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・各単元末にある「できるかな できたかな？」のコーナーを資質・能力の三つの柱で整理し、児童が評価の視点として活用できるよう工夫されている。多様な表現方法や活動記録が掲載され、児童が参考にし、振り返り活動が充実するようやすいよう工夫されている。 ・入学したばかりの1年生が幼児期までにできたことを発揮しながら安心して学校生活が送れるよう工夫されている。また、「3年生へのステップブック」があり、自信や意欲を高め、第3学年以降の学習への期待感をもつことができるよう意図されている。 ・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で全単元が構成されているため、単元の流れが明確であり、児童が主体的・対話的に学習し、気付きの質を高めることができるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・全国各地の伝統行事や公共施設等の写真が豊富に掲載され、日本の伝統文化のよさを体感できるよう意図されている。さらに、全国各地の伝統野菜や祭り、行事食等が「デジタルたんけんブック」に掲載され、身近な地域への愛着をもてる工夫がされている。 ・低学年の発達段階や特性及び生活科の特質に配慮しながらタブレット端末を利用した活動が随所に掲載され、ICTを組み合わせた授業モデルが提示されている。 ・吹き出しや板書等の例が示され、児童の気付きを可視化・共有し、他者の意見を聞くことで考えを広げたり深めたりできる協働的な学びを促す工夫がされている。また、「びっくりずかん」等の豊富な資料があり、思いや願いに応じて参照できるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・A B版で、低学年の児童が扱いやすい大きさ、重量である。机の引き出しに出し入れしやすいよう配慮されている。 ・上巻巻頭の「すたあと ぶっく」は、本編より厚くて光沢のある用紙が使用され、小寸サイズの紙面の角が丸く加工されている。 ・全ての単元で、同じ構成になっていて、児童や教職員が使いやすいよう配慮されている。右下にある、「めくり言葉」に、活動の中で生まれた気付きや次の活動への思いや願いが記載されていることで、あり、主体的・対話的で深い学びの実現につながる。

教科：音楽

種目：音楽

発行者		教科書名
略称	番号	
教出	17	小学音楽
教芸	27	小学生の音楽

調査項目と着眼点 種目【音楽】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【音楽】 発行者【教出】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・曲想と音楽の構造等との関わりについて理解できるよう、知識・技能の習得を一つ一つ具体的に示し、表したい音楽表現をめざしてステップアップできるよう工夫されている。また、資質・能力の三つの柱の育成につながる発問例を「まなびナビマーク」で示して、児童が思考できるよう工夫されている。 ・題材構成された主要部分と、選択可能なオプション部分とで構成されている。音楽を形づくっている要素をもとに、表現と鑑賞の二領域、三分野の教材を組み合わせることができるよう工夫されている。前学年での学びを生かして深められるよう、題材を組み合わせたり発展させたりして配置し、学年間の系統性が図られている。 ・全学年の巻頭に「学習マップ」を位置付けて年間の見通しを示し、題材の学習内容を分かりやすく解説している。第3学年以上では「学習の進め方」コーナーを設け、学習の目的や留意点を示したり、「学び合う音楽」で、協働して取り組める学び方を例示したりする等、主体的・対話的な深い学びにつながる工夫がされている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・全学年で、我が国や郷土の伝統音楽を複数取り上げ、長胴太鼓や篠笛、箏、尺八、三線等の和楽器に親しむことができるよう配置されている。おはやしや民謡を歌ってくらしの中の表現に親しんだり、音楽づくりを通してよさを味わったりする学習が工夫されている。 ・I C Tを活用し、児童が自分で「まなびリンク」を見て運指を確かめたり、「まなびナビマーク」を手掛かりに思いや意図をもって音楽表現を工夫し味わったりできるよう工夫されている。 ・音楽づくりでは、ペアや小グループでリズムや旋律の重ね方等を工夫して協働的に学びが進めていけるよう工夫がある。
3 印刷・製本等に関すること	・大きさは、全学年A B版である。第1・2学年は79ページ、第3学年は81ページ、4～6年は83ページで製本されている。 ・UDフォントを使用し、色覚等をふまえた配色やレイアウトの配慮がされている。リズム譜は、○と◇(休符)で示している。 ・第3～6学年の共通教材の中から各1曲を折込3ページの写真で掲載し、美しいビジュアルで表現されている。巻末に、「にっぽんのうた みんなのうた」が折込3ページで掲載している。

意見書 種目【音楽】 発行者【教芸】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・資質・能力の三つの柱を「見つける」「考える」「歌う・演奏する・つくる」のマークで提示し、バランスよく育成できるよう工夫されている。各題材の最後に「学習のまとめ」を位置付け、児童が「何を学んだか」「何ができるようになったか」を明確にしてその後の学習や生活につなげられるよう工夫されている。 ・表現及び鑑賞の活動を系統的に配列し、題材全体で評価するよう構成されていることで、児童の発達段階に応じた「音楽的な見方・考え方」を働かせながら、学習を積み重ねていくよう配慮されている。 ・「学習マップ」で年間と各題材の学習内容の見通しを示すとともに、巻末の「ふりかえりのページ」で、学習内容を確認したり関連付けたりしながら、主体的に学ぶことができるよう配慮されている。キャラクターの吹き出しで子ども同士の言語活動を例示し、対話的な学びを促す工夫がされている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・全学年で我が国や郷土の伝統音楽を数多く取り上げ、長胴太鼓や篠笛、箏、尺八、三線等の和楽器に親しむことができるよう配置されている。おはやしや民謡を歌ってくらしの中の表現に親しんだり、リズムや日本の音階をつかった音楽づくりを通してよさを味わったりできるよう工夫されている。 ・I C Tを活用し、思いや意図に合う音楽をつくるためのデジタルコンテンツが充実している。 ・図形楽譜(形・色・高さ・模様等の組み合わせ)や擬態語によるリズム・旋律の動き等が示され、音や音楽を視覚化して記録したり表現したりして伝える学習が位置付いている。またそれらを活用して、児童が自分の思いや意図をもって他者と協働しながら音楽表現をしたり、そのよさを伝え合ったりできるよう意図されている。
3 印刷・製本等に関すること	・大きさは、全学年A B版である。低学年は8 3ページ、中・高学年は8 7ページで製本されている。 ・UDフォントを使用し、色覚等をふまえた配色やレイアウトの配慮がされている。リズム譜は、●と○(休符)と・(休符)で示されている。 ・裏表紙には、「育もう！地域の文化 伝えよう！地域の芸能」を写真と文章で掲載されている。

教科：図画工作

種目：図画工作

発行者		教科書名
略称	番号	
開隆堂	9	図画工作
日 文	1 1 6	図画工作

調査項目と着眼点 種目【図画工作】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【図画工作】 発行者【開隆堂】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	- 全題材で、ページの左上段に資質・能力の三つの柱に対応した目標が「学習のめあて」として位置付いており、各題材で育成を目指す資質・能力が分かりやすく示されている。また、三つの目標の中で、重点を置く項目が赤字で記載されたり、親しみやすいキャラクターで示されたりする等、児童にも活用しやすく設計されている。 - 巻末に資料ページが位置付けられ、学年で身に付けたい技法や用具の安全な使い方等が視覚的に分かりやすく示されている。また、既習の用具や技法をつなげて次の題材が示され、系統性と広がり的一面で資質・能力をはぐくむことができるよう配慮されている。また、「あわせて学ぼう」で、具体例を用いて教科間の関連が分かりやすく示されている。 - 題材の概要を示す導入文が問いかけの文型で示されていることで、児童の思考を促し、主体的な学びにつながるよう工夫されている。また、一部の題材において、仲間と関わって活動している写真が掲載され、仲間と対話しながら深く学ぶイメージをもつことができるよう配慮されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	- 粘土や木材等、岐阜県の特徴的な素材を使った題材があり、地域への関心が一層高まるように工夫されている。 - 各題材見開き左下の二次元コードで、用具の使い方や作品を見ることができるだけでなく、振り返りカード等もあり、活用しやすいように工夫されている。また、一人一台端末を生かした題材が盛り込まれており、児童が必然的にＩＣＴを活用できるように設計されている。 - 身近な地域や社会とのつながりを創ることを協働的な学びと捉え、学校外の地域とのかかわりを示した資料が掲載されている。
3 印刷・製本等に関すること	- 総ページ64ページ、A4サイズ。情報量、冊子の重さともに児童にとって取り扱いやすい重量である。 - 児童の作品例の写真が多く、大きさも適当で見やすい。ほとんどの題材が見開きで、「学習の目標」「用具」等の項目が決まった場所に配置されている。製作過程の写真も多く、製作の参考にしやすい。 - 巻末には「学びの資料」として、用具の使い方が分かりやすくまとめられている。また、安全面でのポイントが「安全」と言う項目で位置付いており活用しやすい。

意見書 種目【図画工作】 発行者【日文】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	- 全題材で、資質・能力の三つの柱に対応した目標が位置付いており、育成を目指す資質・能力が分かりやすく示されている。また、三つの目標の中で重点を置く項目が、別枠で大きく示され、関連した児童の写真やつぶやきが掲載されていることで、製作の見通しをもちやすいように設計されている。 - 巻末に資料ページが位置付けられ、各学年で身に付させたい技法や用具の安全な使い方等が、視覚的に分かりやすく示されている。また、既習の用具の使い方を用いて新たな用具の使い方を示す等、技能に関連付けることで、技能が習得しやすいよう工夫されている。また、「つながる学び」として、他教科との関連が確かめられるよう配慮されている。高学年の題材では、中学校への橋渡しとなる鑑賞教材が配置されており、発展性が考慮されている。 - 題材の概要を示す導入文が問いかけの文型で示され、児童の思考を促し、主体的な学びにつながるよう工夫されている。また、ほぼ全ての題材において仲間と関わって活動している写真が掲載され、対話しながら深く学ぶイメージをもつことができるよう工夫されている。さらに、目指す姿に近付くためのヒントが、吹き出しや添え書きで記載されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	- 美濃和紙について詳細に取り上げたり、「土」や「樹木・木材」等の地域素材を扱う題材を配置したりする等、地域への関心が高まるよう工夫されている。 - 各題材見開き右下の二次元コードで、用具の使い方や作品を見ることができる。また、一人一台端末を生かした題材が盛り込まれており、児童が必然的にＩＣＴを活用できるように設計されている。さらに、各学年のプログラミング題材が目次で明記され、ＩＣＴの活用ができるように工夫されている。 - 鑑賞を主とした特設ページを作ったり、各題材に仲間同士で関わる場面の写真を掲載したりする等、仲間と共に学びを広げたり深めたりする場面で、協働的な活動が生まれるように工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	- 総ページ64ページ、A4サイズ。情報量、冊子の重さともに児童にとって取り扱いやすい重量である。 - 児童の作品例の写真が多く、大きさも適当で見やすい。ほとんどの題材が見開きで、「学習の目標」「用具」等の項目が決まった場所に配置されている。製作過程の写真も多く、製作の参考にしやすい。 - 巻末に「材料と用具の引き出し」として、用具の使い方が分かりやすくまとめられている。また、安全面でのポイントが「気をつけよう」という項目で位置付いており活用しやすい。

教科：家庭

種目：家庭

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新編 新しい家庭
開隆堂	9	わたしたちの家庭科

調査項目と着眼点 種目【家庭】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【家庭】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・生活にかかわる見方・考え方を「家庭科の窓」として4つの視点で示している。題材に適した「家庭科の窓」を大題材の初めに示し、題材を通して見方・考え方を働かせて学習に取り組めるように配慮されている。 ・各題材が3つのステップで構成されている。ステップごとの「学習のめあて」が具体的に位置付いているため、学習の見通しを明確にもつことができる。さらに、ステップごとに振り返りの視点を具体的に位置付け、学びを確かめられる工夫がある。また、題材数を第5学年8題材、第6学年7題材として2学年を通して学習する構成となっている。1題材の配当時間が2～14時間であり、第5学年、第6学年ともにそれぞれの題材で完結した構成である。 ・「考えよう」「話し合おう」等5種類の活動を位置付けている。題材の最後には「深めよう」の活動として、学びをさらに深める投げかけが具体的になされている。また、多くの作品例や献立例を提示し、身に付けた知識や技能を活用し、創意工夫して生活や作品に生かせるように工夫している。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・伝統マークを設け、衣食住全ての分野において、教科書本文に即した内容で、日本の伝統的な生活や文化に関わる資料が多数取り上げられている。 ・教科書の全ページに二次元コードが示されており、児童が自分で読み取って必要な動画やワークシートを使用することができるよう工夫されている。また、プログラミングされた家電製品が複数紹介され、プログラミング教育の配慮がされている。 ・「生活の課題と実践」について、「生活を変えるチャンス！」として実践の進め方と実践例が挙げられ、長期休業に合わせた位置付けになっている。他に課題例が8例あり、児童の生活の中から課題を見付けられるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・大きさはA4判、ページ数全150ページ、重量344g、厚さ約5mmである。軽量の紙を使用し、児童の負担に配慮している。 ・色覚特性を考慮した配色とデザインである。UDフォントを採用している。 ・学習内容に合わせて、安全・防災指導の具体がマークとともに簡潔な表現で示されている。巻頭には、実習時の安全に関する指導について、まとめて掲載している。

意見書 種目【家庭】 発行者【開隆堂】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・生活にかかわる見方・考え方を「4つの視点」として示している。四つ葉のクローバーやキャラクターを用いて、題材に適した見方・考え方をを使って考えるよう促している。 ・各題材3つのステップで構成されている。ステップごとの「学習のめあて」が簡潔に位置付けられ、題材の終わりには「学習のめあて」に対するチェック欄や生活に生かすための記述欄が設定されている。また、第5学年の学びに第6学年の学びを積み重ね、配当時間が1題材あたり1～1.1時間になる構成となっている。 ・「考えよう」「話し合おう」等5種類の活動を位置付けている。題材の最後には「生かす・深める」として学びを深める場を位置付け、新たな課題に取り組む提案がなされている。また、作品例や献立例を提示し、身に付けた知識や技能を活用し、創意工夫して生活や作品に生かせるように工夫している。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・伝統マークや特設ページを設け、衣食住全ての分野において日本の伝統的な文化に関する資料を取り上げている。 ・教科書の全ページに二次元コードが示されており、細かく分けられた動画や様々な形式のワークシートの中から必要なものを選んで使用することができる。また、炊飯や洗濯等の作業の流れと家電製品のプログラムを対比させ示したり、フローチャートを作成したりして、プログラミング教育の配慮がされている。 ・「生活の課題と実践」について、「レッツトライ！生活の課題と実践せよ」として実践の進め方と4例の実践例を挙げ、家庭学習へとつなげて生活に生かすよう意図されている。
3 印刷・製本等に関すること	・大きさはA4判、ページ数全154ページ、重量363g、厚さ約7mmである。 ・色覚特性を考慮した配色とデザインである。UDフォントを採用し、1つの単語が行をまたがないよう調整している。 ・学習内容に合わせて、安全・防災指導の具体がマークとともに簡潔な表現で示されている。巻末には、安全や防災に関する指導について、特設ページを設けている。

教科：体育

種目：保健

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新編 新しい保健
大日本	4	新版 たのしい保健
大修館	5 0	新 小学校保健
文教社	2 0 7	新 わたしたちの保健
光 文	2 0 8	小学保健
学 研	2 2 4	新・みんなの保健

調査項目と着眼点 種目【保健】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【保健】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色										
1 学習指導要領に関すること	・今日的な課題に対する予防や手当の方法について分かりやすく示されており、命や健康を守るための技能を身に付けることができるよう工夫がされている。 ・保健の他学年の内容や運動領域、他教科の関連がマークや資料とともに示されており、系統的かつ教科横断的な学習ができるように配慮されている。 ・主体的・対話的で深い学びとなるように、1項目が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4ステップ構成になっている。										
2 西濃地区の指導の方針 に関すること	・自分の地域で行われている保健活動を調べ、利用したい理由を記入する欄が掲載されており、自分の地域を愛する態度を養うことができるように工夫されている。 ・二次元コードが合計93ある。動画、シミュレーション、ワークシートが豊富に用意されている。 ・二次元コードを利用して、学びたいことや生活に生かしたいことをいつでも一人一台端末を利用して確認できるようになっている。										
3 印刷・製本等に関すること	・教科書のページ数や重量は適切になされている。<table><tr><td rowspan="2">総ページ数</td><td>第3・4学年</td><td>40ページ</td></tr><tr><td>第5・6学年</td><td>74ページ</td></tr><tr><td rowspan="2">重量</td><td>第3・4学年</td><td>151g</td></tr><tr><td>第5・6学年</td><td>237g</td></tr></table> ・印刷が鮮明で、UDフォント使用し、文字の大きさに配慮し、文節の切れ目で改行している。大切な言葉を太字にし、分かりにくい箇所をルビ表記している。 ・目次にウェブコンテンツの記載がある。また、外国籍の児童や特別支援に関わる児童のイラストを使用し、子どもの多様性について配慮をしている。	総ページ数	第3・4学年	40ページ	第5・6学年	74ページ	重量	第3・4学年	151g	第5・6学年	237g
総ページ数	第3・4学年		40ページ								
	第5・6学年	74ページ									
重量	第3・4学年	151g									
	第5・6学年	237g									

意見書 種目【保健】 発行者【大日本】

調 査 項 目	特 色										
1 学習指導要領に関すること	・活動から導き出される学習内容を分かりやすく図解し、学んだ事を基に技能を習得できるように実習を位置付けている。 ・巻末で次学年への学習につなげるページがあり、系統性に配慮されている。 ・1項目が「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」の4ステップ構成になっている。それぞれのステップに自分を振り返り、記述する欄がある。表紙に折込みカードがあり活動を行う時の補助になる。										
2 西濃地区の指導の方針 に関すること	・家庭や地域において学習したことを活用できるよう、該当箇所に「いえで」「ちいきで」マークを掲載し、地域社会との連携が図れるように配慮されている。 ・二次元コードが合計39ある。動画、シミュレーション、ワークシート等の二次元コードやウェブアドレスが用意されている。 ・「ミニちしき」や「はってん」等の読み物や資料で、個に応じて学習内容を深めることができるようになっている。										
3 印刷・製本等に関すること	・教科書のページ数や重量は適切になされている。 <table><tr><td rowspan="2">総ページ数</td><td>第3・4学年</td><td>34ページ</td></tr><tr><td>第5・6学年</td><td>58ページ</td></tr><tr><td rowspan="2">重量</td><td>第3・4学年</td><td>186g</td></tr><tr><td>第5・6学年</td><td>267g</td></tr></table> ・特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、読みやすい位置で改行をする等の工夫がされている。 ・目次にデジタルコンテンツの記載がある。また、巻頭の資料で第6学年までの学習内容が記載されており、見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。	総ページ数	第3・4学年	34ページ	第5・6学年	58ページ	重量	第3・4学年	186g	第5・6学年	267g
総ページ数	第3・4学年		34ページ								
	第5・6学年	58ページ									
重量	第3・4学年	186g									
	第5・6学年	267g									

意見書 種目【保健】 発行者【大修館】

調 査 項 目	特 色										
1 学習指導要領に関すること	・ 1 時間に理解すべき内容が簡潔にまとめられており、今日的な課題に対する対処法が詳しく掲載され、実習も位置付けられている。 ・ 体育や保健の他学年の内容、他教科の関連がマークとともに随所に示されており、系統のかつ教科横断的な学習ができるように配慮されている。 ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、1 項目が「課題をつかもう」「調べよう・考えよう」「生かそう・伝えよう・話し合おう」の 3 ステップ構成になっている。										
2 西濃地区の指導の方針 に関すること	・ 健康を守る学校や地域の活動について、多様な取組が写真で紹介されている。 ・ 二次元コードが合計 6 1 ある。主体的に学習内容を振り返ることができるよう、1 時間の終末に「ほけんクイズにトライ」が位置付けられている。 ・ 単元内の適切な位置に、発展的な内容を提示し、児童が興味・関心をもって学習ができるよう工夫されている。										
3 印刷・製本等に関すること	・ 教科書のページ数や重量は適切になされている。 <table><tr><td rowspan="2">総ページ数</td><td>第 3 ・ 4 学年</td><td>4 0 ページ</td></tr><tr><td>第 5 ・ 6 学年</td><td>6 6 ページ</td></tr><tr><td rowspan="2">重量</td><td>第 3 ・ 4 学年</td><td>1 5 6 g</td></tr><tr><td>第 5 ・ 6 学年</td><td>2 1 7 g</td></tr></table> ・ キーワードを太字で示し、文節や単語が行をまたがないように改行されている。 ・ 巻頭及び目次にデジタルコンテンツの記載がある。また、3 ・ 4 年の巻末に 5 ・ 6 年生の学習内容が示され、学習の見通しをもてるようになっている。	総ページ数	第 3 ・ 4 学年	4 0 ページ	第 5 ・ 6 学年	6 6 ページ	重量	第 3 ・ 4 学年	1 5 6 g	第 5 ・ 6 学年	2 1 7 g
総ページ数	第 3 ・ 4 学年		4 0 ページ								
	第 5 ・ 6 学年	6 6 ページ									
重量	第 3 ・ 4 学年	1 5 6 g									
	第 5 ・ 6 学年	2 1 7 g									

意見書 種目【保健】 発行者【文教社】

調 査 項 目	特 色										
1 学習指導要領に関すること	・現代社会の課題である「心の安定」のための対処法が、様々な角度から示されている。 ・関連する学習内容をページの下部にマークと共に一文で説明しており、領域内で系統的に学習できるよう工夫をしている。 ・主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、学習過程を「学習内容キーワードの提示」「エピソード」「発展的な学習内容の紹介」の3ステップ構成としている。										
2 西濃地区の指導の方針 に関すること	・健康を守る学校や地域の活動を紹介し、自分の地域を愛する態度を養うことができるように配慮されている。 ・二次元コードが合計29ある。二次元コードを読み取ることで、基礎的・基本的な内容を確認できるようになっている。 ・「もっと考えよう課」では、学習したことを基に、さらに深く考えるための発展的な活動が設定されている。										
3 印刷・製本等に関すること	・教科書のページ数や重量は適切になされている。 <table><tr><td rowspan="2">総ページ数</td><td>第3・4学年</td><td>36ページ</td></tr><tr><td>第5・6学年</td><td>81ページ</td></tr><tr><td rowspan="2">重量</td><td>第3・4学年</td><td>134g</td></tr><tr><td>第5・6学年</td><td>195g</td></tr></table> ・該当学年までに配当された漢字を使用し、分かりにくい箇所はルビ表記している。 ・イラストや写真が多く採用されており、子どもの意欲・関心を高めることができるように工夫されている。	総ページ数	第3・4学年	36ページ	第5・6学年	81ページ	重量	第3・4学年	134g	第5・6学年	195g
総ページ数	第3・4学年		36ページ								
	第5・6学年	81ページ									
重量	第3・4学年	134g									
	第5・6学年	195g									

意見書 種目【保健】 発行者【光文】

調 査 項 目	特 色										
1 学習指導要領に関すること	・身近な事柄から課題を見つけ、仲間と調べたことを基に、発展的な問題について仲間と話し合う活動が位置付けられている。 ・他の教科や学年の学習内容についてマークを使って示すことで系統的な学習に配慮している。 ・1項目が「自分の生活をふり返る」「課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」の5ステップ構成になっている。また、自分の健康課題を見つけ、その解決に向けて自ら考える力を育成できるように、学習の流れが分かりやすい構成になっている。										
2 西濃地区の指導の方針 に関すること	・自分の住む地域に関わる活動を調べることで、自分の地域を愛する態度を養うことができるように配慮されている。 ・二次元コードが合計39ある。また、知識や技能が身に付くように位置付けられている。 ・単元内の適切な位置に、発展的な内容を提示し、児童が興味・関心をもって学習ができるよう工夫されている。										
3 印刷・製本等に関すること	・教科書のページ数や重量は適切になされている。 <table><tr><td rowspan="2">総ページ数</td><td>第3・4学年</td><td>34ページ</td></tr><tr><td>第5・6学年</td><td>58ページ</td></tr><tr><td rowspan="2">重量</td><td>第3・4学年</td><td>134g</td></tr><tr><td>第5・6学年</td><td>195g</td></tr></table> ・文や資料が混同しないよう間に余白を設けたり、線を引いたりして、視認性を高めている。 ・目次にデジタルコンテンツの記載がある。授業導入の動画が位置付けられ、興味・関心をもって授業に取り組めるようになっている。	総ページ数	第3・4学年	34ページ	第5・6学年	58ページ	重量	第3・4学年	134g	第5・6学年	195g
総ページ数	第3・4学年		34ページ								
	第5・6学年	58ページ									
重量	第3・4学年	134g									
	第5・6学年	195g									

意見書 種目【保健】 発行者【学研】

調 査 項 目	特 色										
1 学習指導要領に関すること	・「学びを生かす」では、学習したことを活用して、今後の課題について考えを深める活動が位置付けられている。 ・「つなぐ」という言葉とマークを用いて、随所に各教科や運動領域と関連があることを明記し、系統的な学習に配慮している。 ・主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、1 項目が「課題をつかむ」「ふり返る」「例を挙げて話し合う」「学びを生かす」の 4 ステップ構成になっている。										
2 西濃地区の指導の方針 に関すること	・家庭や地域において保健で学習したことを活用できるよう、該当箇所に「おうちで」「ちいきで」マークを掲載し、地域社会との連携が図れるように配慮されている。 ・二次元コードが合計 3 8 がある。学習の流れに沿って必要なデジタルコンテンツが位置付いている。 ・児童一人一人の興味・関心に応じて、デジタルコンテンツ等を活用し、学習を広げたり深めたりできるよう工夫されている。										
3 印刷・製本等に関すること	・教科書のページ数や重量は適切になされている。 <table><tr><td rowspan="2">総ページ数</td><td>第 3 ・ 4 学年</td><td>4 2 ページ</td></tr><tr><td>第 5 ・ 6 学年</td><td>7 8 ページ</td></tr><tr><td rowspan="2">重量</td><td>第 3 ・ 4 学年</td><td>1 5 1 g</td></tr><tr><td>第 5 ・ 6 学年</td><td>2 5 2 g</td></tr></table> ・キーワードはフォントを大きくし、書体や色を変えることで、視認しやすいように配慮がされている。 ・巻末には、生活に生かしたい目標等を書く欄があり、健康保持の意識を高め、学習内容が将来へつながるように配慮されている。	総ページ数	第 3 ・ 4 学年	4 2 ページ	第 5 ・ 6 学年	7 8 ページ	重量	第 3 ・ 4 学年	1 5 1 g	第 5 ・ 6 学年	2 5 2 g
総ページ数	第 3 ・ 4 学年		4 2 ページ								
	第 5 ・ 6 学年	7 8 ページ									
重量	第 3 ・ 4 学年	1 5 1 g									
	第 5 ・ 6 学年	2 5 2 g									

教科：外国語

種目：英語

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	NEW HORIZON Elementary English Course
開隆堂	9	Junior Sunshine
三省堂	1 5	CROWN Jr.
教 出	1 7	ONE WORLD Smiles
光 村	3 8	Here We Go!
啓林館	6 1	Blue Sky elementary

調査項目と着眼点 種目【英語】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【英語】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・「音声を聞く活動」「学習した語彙や表現を使ってペアやグループで話したり、書いたりする活動」という流れで4技能5領域がバランスよく各単元に構成されている。第5学年では、英語を書くことに慣れ親しみ、第6学年では、自分の話した内容を書くことができるように位置付けられている。年間を通して3度の「Check Your Steps」を設定し、学習した内容を確認することができる。 ・第5学年「Let's start!」第6学年「Going to Junior High School」等、次学年への接続がスムーズに行われるよう工夫されている。また、他教科と関連のある内容が多く導入されており、第6学年ではSDGsに関連させた内容が構成されている。 ・主体的に学習に取り組めるよう、3観点別の目標が示されている。単元の目標は動画でも確認することができ、児童が明確にゴールをイメージすることができる。単元のゴールへ向けて目標に対応した振り返りスペースを適宜掲載している。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・自分の住む町の好きな施設や、日本各地の料理、行きたい場所等を伝える活動、外国出身者の目線から日本の伝統文化の良さを紹介する動画等、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。 ・児童の学習意欲を引き出すために二次元コードが豊富に掲載されており、家庭学習でも使用することができる。また、アニメのキャラクターが成長していくストーリーを視聴することで、楽しみながら場面に適した英語表現を理解し、身に付けることができる。 ・会話練習動画や、探したい語彙を簡単に探せる「Digital Dictionary」、日本や世界の有名な場所・ものを探して書き写しや音声の確認ができる「Digital Map」等個別最適な学びに生かせるデジタルコンテンツが充実している。グループで助け合いながら行う発表活動等を設定し、自然な流れで協働的な学習が行うことができるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・教科書の判型は、A4判である。厚みや重量に配慮されている。A4判の別冊が1冊ついている。 ・手本が左右に配置され、左利きの児童の読み書き初期段階でのつまずきを回避できるよう工夫されている。また、各Unitの項目が定位置に配置され、児童に流れが分かりやすいよう配慮されている。 ・目次は3つの内容（第5学年「自分」「地域」「日本」、第6学年「世界の国や生活」「世界と地球」「思い出と夢」）に分かれており、色分けされている。巻末には、絵カード等がある。また、単語がジャンル別にまとめられた「My Picture Dictionary」もある。

意見書 種目【英語】 発行者【開隆堂】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・ 音声を聞くことから始まり、文字の学びへつながっていくように、身に付けさせたい力を明確にした、聞く、話す、書く活動が配置されており、4技能5領域がバランスよく学べるように配慮されている。年間に3度「Let's Check」が設定されており、Unitを通して身に付けた知識技能の振り返りができるように配慮されている。 ・ 「Let's review!」では、前年度までに慣れ親しんだ語彙や表現が復習でき、英語学習への導入がスムーズにできるよう配慮されている。どの Lesson にも算数や社会等の他教科の学びにつながる題材が取り入れられ、教科横断的な学びができるように工夫されている。 ・ 学びを生かした主体的なコミュニケーションを生み出すために、各単元の初めに、見通しとゴールが系統的に示されている。また、巻末の「CAN-DO チェック」を基に単元の終末ごとに観点別の振り返りや自己評価ができるように配慮されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・ 世界のあいさつ・行事・お祭り・授業・施設・食べ物・町・特技（第5学年）日課・偉人・遺産・学校行事・職業（第6学年）等世界のことを話題に取り上げ、日本と比較できるように配慮されている。また、日本のことを英語で紹介する活動等、ふるさとへの誇りと愛着を育む内容が盛り込まれている。 ・ 二次元コードを読み取ることで、多彩な動画や音声を聞くことができる。また、音声から文字への学習をスムーズに繋げるために、言語活動「Activity」を行った後に文字と結びつける活動「Let's Listen and Read」を設定する工夫がされている。 ・ 児童の実態に合わせて動画や音声を何度も聞くことができ、個に合わせた学びを選択することができる。児童たちの興味・関心を踏まえた題材が選ばれており、ペアやグループ、または学級全体で自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動が充実している。
3 印刷・製本等に関すること	・ 教科書の判型は、A4判である。各学年にA4判の別冊がついている。 ・ 本文の日本語にはUDフォントを使用している。4線の幅が工夫されており、書きづらい小文字を丁寧に書くことができるようになっている。 ・ 巻末には、裏表で使えるアルファベットカードや絵カードがついている。また、ローマ字表やキーボード表があり読み書きやローマ字入力に活用できるようになっている。単語がジャンル別にまとめられた「Word Book」が別冊で学年ごとにある。

意見書 種目【英語】 発行者【三省堂】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・学年ごとに3つの大単元があり、それぞれが「HOP, STEP, JUMP」で構成されている。「HOP」や「STEP」を通して、インプットやアウトプットを繰り返して知識技能を繰り返し身に付けられるように工夫されている。「JUMP」では、それまでに身に付けた知識・技能を生かして、新たな目的や場面、状況等に応じて表現する構成になっている。また、買い物や道案内等、特有の場面で使われる表現を「Try」で扱う等様々な場面に適応する表現を紹介している。 ・既習の語句を、イラストを基に復習するページが巻頭に設けられている。第6学年のUnit3「将来の夢を伝えよう」では、キャリア教育に発展させることができるような内容が扱われている。 ・「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、Unit 末に位置付けられる「JUMP」では、Unit で学んだ知識・技能を活用して仲間へ発表できるようになっている。段階的に準備ができるような例示がされており、既習の確認と発展的な表現の習得へと繋がられるように工夫がされている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・日本や自分が住んでいる地域のおすすめの場所とそこでできることや、日本の行事や自分が住んでいる地域の施設・自然等の魅力を紹介する活動が位置付けられており、地域への愛着の心を育むことができるよう配慮されている。 ・目的や場面、状況等の把握や児童の意欲向上等を目的として、映像を視聴する活動が全 Lesson に設定されている。教科書だけでなく、別冊の「My Dictionary」にも複数の二次元コードがあり、音声への慣れ親しみを容易にしている。 ・児童一人一人の学習状況や興味・関心に応じて、個別最適な方法で学習できるように、デジタルコンテンツが充実している。「JUMP」で発表活動の前に児童同士で練習し、アドバイスをし合ったり、友達のよいところを自分の発表に取り入れたりする等共働的に学習を進めることができるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・教科書の判型は、A4判である。A5判の別冊が1冊ついている。 ・視覚への刺激が少ない淡い色使いで、カラーUDに配慮されており、イラスト上にある語句には、囲みや罫線、白地等を使用して見やすくなるよう工夫されている。 ・「絵カード」や「プロフィールカード」等、切り離して使える付録が豊富に付いている。また、「My Dictionary」で単語かまとめて掲載されており、表現の幅を広げることができるよう配慮されている。

意見書 種目【英語】 発行者【教出】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・各単元は、4技能5領域が有機的につながった学習を展開することができるように配慮されている。映像を見ながら「聞くこと」を通じたインプットから始め、音声のみでの「聞くこと」、歌やリズムで表現に慣れ親しむこと、学んだ表現を使った簡単な「やり取り」、最後に「話すこと(やり取り・発表)」でのアウトプットへと展開する構成になっている。「読むこと」「書くこと」は、段階的に文字を読んだり書いたりして、系統性のある指導ができるように工夫されている。 ・各学年の巻頭に前学年の復習教材があり、既習の語彙や表現の振り返りができるように配慮されている。国語、社会、道德等、他教科で学んだことを英語学習に生かせる内容が盛り込まれている。 ・主体的な活動を生み出すために、巻頭に1年間の学びの歩みが大まかに見通せる「学びのロードマップ」が示されている。また、各ページ右上に今の位置やゴールまでの進捗が示されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・名所名物マップとして、第5学年は国内について、第6学年は国外についての内容が記載されており、自国の文化への関心に留まらず、世界へと関心が向くような教材の配列がなされている。 ・二次元コードが適宜掲載されており、英単語の発音をいつでも何度でも確認し学習に生かすことができる。「Action!」では、同じフレーズを異なる目的や場面、状況等に合わせて楽しく発話する活動が設けられている。 ・教科書紙面にある二次元コードから、音声や動画等のデジタルコンテンツや「まなびリンク」を活用することで、児童一人ひとりのペースにそった学習ができる。Lesson内にペアやグループで協力しながら取り組む「Activity」や「Final Activity」があり、実際にコミュニケーション活動を行う機会が豊富に取り入れられている。
3 印刷・製本等に関すること	・教科書の判型は、A B判である。 ・色の組み合わせや濃淡の工夫、罫線や記号・番号を活用することで文字の補助が施され、見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用する等、児童が読んだり理解したりしやすいように配慮されている。 ・第5学年P108、第6学年P109より「My Word Bank」があり様々な単語が掲載されている。また、付録として、活動用シール、アルファベットカード、絵カード、ワークシート等が付いている。

意見書 種目【英語】 発行者【光村】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・ 学年ごとに、3つのパートに分けられ、それぞれにテーマが段階的に設定されている。また、各パートに5領域の活動がバランスよく配置されており、確かな英語の力が育めるよう意図されている。各単元では、5領域の中で特に重点的に学習する領域が設定されている。複数単元後には、まとめの言語活動として「世界の友達」「You can do it!」が位置付けられており、各領域の到達度を確認できるよう工夫されている。 ・ 「Picture Dictionary」には、既習の語彙が分かるよう「足跡マーク」が付いている。また、第5・6学年では、「言葉について考えよう」が設定されており、日本語という言語を見つめたり、よりよい言葉の使い方を考えたりする場が設定されている。 ・ 見通しを持って主体的に活動に取り組めるよう、巻頭に4技能5領域が示された「第5学年（第6学年）でできるようになること」が示されている。また、各ページ右上に今の位置やゴールまでの進捗が示されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・ 自分の住む町の魅力を伝える活動や、日本の伝統文化や季節ごとの行事を紹介する活動が位置付けられており、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度や日本の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。 ・ 「ICTを活用しよう」では、有効的な活用例が示されていたり、挿絵の中にICTを活用しているイラストを多く掲載したりしている。また、映像や音声を見たり聞いたりすることができるよう、二次元コードが数多く掲載されている。 ・ 学習者用デジタル教科書の中に、児童の学習履歴の確認ができる機能がついている。また、Unitの「Goal」には既習表現を思い出すための「Phrase Hunt」があり、二次元コードから見ることもできる表現をヒントに、他に使えるような表現を探し、クラス全体で共有する協働的な学びができる。
3 印刷・製本等に関すること	・ 教科書の判型は、A B判である。巻末に取り外しが可能な、A B判の別冊がある。 ・ 小文字を書く場所を判別しやすいよう、第2線と第3線の間を広めに間を空けていたり、着色してあったりする等の配慮がされている。 ・ 各学年に別冊の「Picture Dictionary」があり、カテゴリーごとの語彙や相手に配慮するための表現を確認できる。また、巻末にミシン目で切り取れる語彙カード（厚紙）が付いている。

意見書 種目【英語】 発行者【啓林館】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・ 4 技能 5 領域の内容を各単元でバランスよく取り上げている。各単元には、「3つの Step」が設けられ、「聞く」「話す」を繰り返しながらスモールステップで着実に力が付けられるよう配慮されている。また、第6学年では、4 技能 5 領域を相互に関連付けながら学習が進められるよう配慮されている。複数単元後には、「聞く・話す」「読む・話す」等技能を統合する活動「REVIEW」が位置付けられており、思考力・判断力・表現力を養うことができるよう工夫されている。 ・ Pre Unit で、前学年で学習した語彙や表現が取り入れられ、繰り返し復習できるようになっている。社会科を中心に、他教科の学びを生かしながら、より深く意味のある活動になるような題材が取り入れられている。 ・ 主体的な学習を生み出すために、Unit のはじめに、単元のゴールとゴールに向かうための Step 1 から Step 3 までの段階的な目標が示されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・ 日本各地の名所・祭り・食べ物・特産品等について知ることや、自分の町に必要なものを考える等の活動を位置付けることで、自国やふるさとのよさに気づき、さらに興味が高まるよう配慮されている。 ・ 世界の文化や生活について映像を通して学べるよう、二次元コードが掲載されている。また、二次元コードには「Hints」と書かれているものがあり、音声を聞いたり文字を操作することで活動の助けになったりするように工夫されている。教科書の挿絵や写真では、一人一台端末やパソコンを用いた I C T の活用例が多く示されており視覚からも児童に I C T を活用できるように促している。 ・ 音声・映像・単語クイズ・話すための「英文 maker」等、様々なコンテンツが二次元コードから利用できる。ペアやグループの活動場面を多く設定しており、友達とのやりとりから気づきを促し、学びを深めることができるようになっている。
3 印刷・製本等に関すること	・ 教科書の判型は、A 4 判である。 ・ 本文には、UD フォントを採用して視認性・可読性が高い。色覚特性や障害のある児童にも分かりやすいように、判別しやすい色を使用、シンプルなイラストを掲載、メディア・ユニバーサル・デザイン協会による検証を受ける、等の工夫をしている。 ・ P 1 0 8 より「Word List」があり様々な単語が掲載されている。巻末にミシン目入りで Unit ごとの絵カードが豊富にあり、カルタ等のゲームや語順を考える活動に使用できる。

教科：道徳

種目：道徳

発行者		教科書名
略称	番号	
東 書	2	新編 新しい道徳
教 出	1 7	小学道徳 はばたこう明日へ
光 村	3 8	道徳 きみがいちばんひかるとき
日 文	1 1 6	小学道徳 生きる力
光 文	2 0 8	小学道徳 ゆたかな心
学 研	2 2 4	新版 みんなの道徳

調査項目と着眼点 種目【道徳】

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領に関する こと	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
2 西濃地区の指導の 方針に関すること	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進 (2) 児童が I C Tを活用する学習活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実
3 印刷・製本等に関する こと	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜

意見書 種目【道徳】 発行者【東書】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・「考えよう」で議論すべきことを絞って問いが設定しており、大切にすべき価値項目が分かりやすいよう工夫されている。また、本時学習する題材が「自分自身のこと」「人とのかかわり」「社会とのかかわり」「命、自然、大いなるもの」のどの視点に分類される資料であるかが分かりやすいよう工夫されている。 ・「つながる・広がる」では、本編題材で考えたことを他教科や日常生活につなぐことができるようにしてあり、他教科等との関連から多面的・多角的な学習ができるよう工夫されている。 ・導入教材において、道徳でどんなことを学ぶのかが分かりやすく示されており、主体的に学べるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・教材の最後に「つながる・広がる」の項目を設けて、地域や身のまわりとのつながり、自分自身との関わりについて考えられるよう工夫されている。 ・巻末に、「考えるためのツール」が紹介されており、自分の考えを表現したり、仲間の考えと比べたりできるよう配慮されている。また、各学年の実態に合わせた情報モラルに関する資料やコラムが掲載されている。さらに、二次元コードを用いたデジタルコンテンツで授業をサポートし、学習意欲をより高められるよう工夫されている。 ・巻末には「学習の記録」として、心に残った教材を記入し、心の成長を確認することができるよう配慮されている。また、これからの生活に生かしたいことを整理し、学期における学びがにつながるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・総ページ数144～194、重量280～372g、横幅の広いA B判を採用し、行間にゆとりをもたせている。 ・文字は、ユニバーサルデザインに配慮した教科書体で、学年により文字の大きさを変える等配慮されている。また、色覚特性に配慮された柔らかい色づかいが採用されている。 ・第4学年からは、巻末に「考えるためのツール」として切り取って使用できる「心情円」が綴じこまれている。

意見書 種目【道徳】 発行者【教出】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・ 現代的な課題である情報モラルについては全学年 1 教材が位置付いている。また、生命尊重やいじめに関する教材は 2 つの教材とコラムでユニットを編成し、多面的・多角的に考え、道徳的価値に迫れるよう構成されている。 ・ 学んだ道徳的価値について日常生活で実践しやすいように意図されている。また、学校生活を舞台とした資料が多く、児童が共感したり、自分事として考えたりしやすくなっている。 ・ 「かいけつ」としてトピックを立て、問題解決に向けてどうすればよいかを考え、議論を深められるように構成されている。また、「たいけん」では、劇化や役割演技により動作で表現しながら考え、道徳的価値に迫れるように構成されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・ 伝統や自然愛護に関する教材がどの学年にも 4 つ程度あり、バランスよく配置され、6 年間を通してふるさとへの誇りや愛着を育むことができるように配列されている。岐阜に関する教材も位置付いている。 ・ 二次元コードによって、全ての教材に解説や内容を補足する資料が添付されている。デジタルコンテンツを活用することによって発展的に学習を広げることができるよう配慮されている。 ・ 教材の最後に、3 観点(しっかり考えた・新しく気付いたことがあった・大切にしたいことがわかった)について振り返る場が位置付いており、授業を振り返りやすいように構成されている。巻末には、心に残った教材や 1 年間の振り返りを書いたりすることができるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・ 総ページ数 1 5 7 ～ 1 8 1、重量 3 3 6 ～ 3 8 3 g、A B 版を採用し、1 教材あたりの文章量を精選することでページ数を抑え、持ち運ぶ際の負担を軽減できるように工夫されている。 ・ ユニバーサルデザインに配慮した書体であり、児童が読みやすい文字の大きさや字間に配慮されている。 ・ 必要最小限の情報量で見やすく構成されている。また、道徳の学習ガイダンスがついており、道徳での学び方が理解しやすいように配慮されている。

意見書 種目【道徳】 発行者【光村】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・学習のてびき「考えよう・話し合おう」が位置付けられ、多面的・多角的に考える問いが設定されている。また、「学びの記録」によって自分の考えや行動を振り返ることで、自身の変化や成長を自覚することができるように工夫されている。 ・教材末には、「つなげよう」が位置付けられており、他教科や日常生活につなげられるように工夫されている。また、4つの視点の項目がバランスよく配置されている。 ・問題の解決や道徳的価値を深めるための問いが設定されており、対話を意識した構成となっている。また、資料の場面描写が分かりやすく、自分事として考えることができるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・自然愛護、伝統と文化の尊重に関する教材が各学年1つずつ配置され、他教科や総合的な学習と関連した内容となっている。第3学年以上の巻末付録では、日本各地の伝統文化や地域で取り組まれている活動について学ぶことができるよう工夫されている。 ・3種類のデジタルコンテンツがあり、音声、画像（スライド）、動画（インタビュー等）で、学びを広げたり深めたりできる。また、各学年に「役割演技の進め方」や「思考ツールの使い方」が示されており、児童が見て学ぶことができるように工夫されている。 ・段階を追って対話する力を育む教材が配置されていたり、話し合うことを意図した問いを設定したりすることで、協働的な学びにつながるよう配慮されている。
3 印刷・製本等に関すること	・総ページ数133～212、重量253～370g、B5変型判を使用し、児童が持ちやすく扱いやすい大きさに配慮されている。 ・本文には、読みやすく書き文字に近い「光村教科書体」が用いられている。文字の大きさも見やすく、当該学年の配当漢字には全て振り仮名が付されており、読みの負担を軽減する配慮がされている。 ・全編を通して写真や絵の色遣いが見やすく、挿絵に登場人物名が添えられていたり、色と形で視点のマークを区別できるようになっていたりする等、児童が学びやすい工夫がされている。

意見書 種目【道徳】 発行者【日文】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・吹き出しで自分の考えを記述できる箇所があったり、役割演技の方法や体験活動と結び付ける場面が提示されたりしており、主体的・対話的で深い学びに繋がる工夫がなされている。 ・「ぐっと深める」のページ等では、どんな思いだったかを考えさせる等、児童の思考の流れに沿って対話的な学びを深めることができるような発問が工夫されている。 ・情景を連想させる丁寧な表現がされており、主体的に考える基盤として、題材の豊かな世界をイメージすることができるよう工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・杉原千畝等のふるさとの偉人や、和太鼓、花火等地域芸能、伝統文化についての教材が位置付いており、地域について学ぶことができるよう配慮されている。 ・全ての教材にデジタルコンテンツが設定されており、一人一台端末で読み取ることで、教材の理解を促したり、心情メーター・思考ツール等を用いて自己理解を深めたりする工夫がなされている。 ・見出しの言葉や教材への導入を促す文章が内容の理解を深めたり、問題解決への糸口になったりするような工夫がされている。また、別冊で「道徳ノート」が付いており、考えの形成や授業後のまとめ、評価を記入する等、道徳的实践力を培うことができるよう工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・総ページ数154～194、重量302～377g、AB版を使用している。 ・第1・2学年は分かち書きになっており、5行ごとに行番号が付いている。UDデジタル教科書体を使用し、広い行間をとることで、読みやすいよう配慮されている。 ・区別のしやすい4色を使用し、色覚の特性に配慮した色遣いを採用している。

意見書 種目【道徳】 発行者【光文】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・ 巻頭のオリエンテーションのページに道徳の意義や考え方が整理して記載されており、児童が主体的に取り組めるよう配慮されている。 ・ 特に考えさせたい内容を「重点主題」として配置している。「いじめを生み出さない心」では、低学年は「嫌なことを嫌といえる。」、中学年は「多様性を認める。」、高学年は「集団内・集団間の関わりを深める。」等、発達段階をふまえて系統的に学ぶことができるよう配慮されている。 ・ 「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」という問いが設定されており、題材を通して何を大切にするのか学びのヒントがあり、主体的に学ぶことができるように工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・ ギフチョウや白川郷等の岐阜県の地域教材が、第2学年では2つ、第3～5学年では各1つ、第6学年では2つ取り上げられており、身近な話題として考えられるように工夫されている。 ・ 二次元コードが付加されている教材については、動画や写真等、発展的な情報で学びを深めることができるように工夫されている。 ・ 発達段階に応じて、吹き出し・矢印・心情円・チャート等の思考ツールが位置付けられ、自分の考えの深まりや変容を自覚し、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。
3 印刷・製本等に関すること	・ 総ページ数156～188、重量350～450g程度のA B判となっており、A 4判より小さめのサイズで軽量化、扱いやすさに配慮されている。 ・ 各学年の発達段階に配慮された絵や図、写真があり、教材の内容を具体的にイメージする手がかかりとなっている。また色彩や配置、レイアウト等が配慮されている。 ・ 巻末には「学びの足あと」が添付されており、自己の学びを累積的に振り返ることができるよう工夫されている。

意見書 種目【道徳】 発行者【学研】

調 査 項 目	特 色
1 学習指導要領に関すること	・「深めよう」「心のパスポート」の特設ページでは、教材に応じて学習と日常生活をつなげ、学びを広げたり深めたりする工夫がされている。 ・「善悪の判断」「生命尊重」に関する項目は、全学年3教材取り上げられている。また、「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」等の資料が多く、いじめ等の現代的な課題に対して、多面的に考えることができるよう配列されている。 ・本文に主題名を明示しないことで、特定の価値に限らず幅広く考えられるよう配慮されている。また、本文中のキーワードとなる一文を文頭に掲載することで、価値について考えるきっかけとなるように工夫されている。
2 西濃地区の指導の方針に関すること	・郡上踊りや高橋尚子選手等、岐阜県に関わる教材が取り入れられ、地域について学ぶことができるよう配慮されている。 ・二次元コードによって関連する資料を添付する等、デジタルコンテンツを活用しながら、主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 ・教材によって自分の考えを記入することができるようになっており、個の成長の足跡を残す工夫がされている。
3 印刷・製本等に関すること	・総ページ数142～170、重量295～348g、A B判を採用し、軽量で持ち運びしやすくなっている。 ・発達段階に応じた文字の大きさや行間に配慮されており、第1学年では文節分かち書き、第2学年では1～3文節分かち書きとなっている。 ・巻頭には自己を見つめるページ、巻末には自己の成長を振り返るページが配置されている。